
戦友会に関する社会学的基礎研究

16530325

平成16年度～平成17年度科学研究費補助金
(基盤研究(C)) 研究成果報告書

京都大学図書

8年6月



1060667419

附属図書館

著者 高橋由典
間・環境学研究科教授

目 次

はしがき	1
------------	---

本報告書の構成と内容	3
------------------	---

第一部 戦友会についての調査（平成 16 年）	5
-------------------------------	---

第二部 戦友会についてのアンケート調査（平成 17 年）	87
------------------------------------	----

【資料】

第一回調査依頼状	170
----------------	-----

第一回調査調査票	172
----------------	-----

第二回調査依頼状	174
----------------	-----

第二回調査調査票	176
----------------	-----

<はしがき>

本報告書は平成16年度～平成17年度科学研究費補助金による研究成果の一部である。本報告書には、平成16年度と平成17年度に行った二つの戦友会調査の調査データを収録してある。双方とも戦友会の世話人を回答者とする調査だが、回答者の年齢からいって、おそらくこれらの調査が戦友会調査としては最後のものになると考えられる。類似の調査はほとんどないので、収録されたデータは大変貴重なものといつてよいだろう^{*}。本研究の研究組織、交付決定額（配分額）、研究代表者・研究分担者による研究発表は、下記のとおりである。

研究組織

研究代表者 高橋由典（京都大学大学院人間・環境学研究科教授）

研究分担者 高橋三郎（広島国際学院大学現代社会学部菅教授）

研究分担者 伊藤公雄（京都大学大学院文学研究科教授）

研究分担者 新田光子（龍谷大学社会学部教授）

研究分担者 吉田純（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

（上記所属・職名は平成18年3月末日現在のものである）

交付決定額（配分額）

	直接経費（円）	間接経費（円）	合計（円）
平成16年度	1,700,000	0	1,700,000
平成17年度	2,000,000	0	2,000,000
総計（円）	3,700,000	0	3,700,000

研究発表

(1) 学会誌等

- ①高橋由典「体験選択の動的な性質」『ソシオロジ』第50巻1号、2005年5月
- ②高橋由典「体験選択と開いた社会性」『社会学評論』第56巻4号、2006年3月
- ③伊藤公雄「社会学のイメージ」『フォーラム現代社会学』第4号、2005年5月

^{*}社団法人元軍人軍属短期在職者協力協会『「戦友会」調査報告書』（平成13年）には、個々の戦友会についてのきわめて詳細なデータが提示されている。しかしそこには戦友会会員たちの意識に関わる項目は含まれていない。戦友会会員たちの意識に関する大規模データは、前回（1978-80）と今回（2004-05）の調査で我々が収集したものが唯一のものである。本文で「大変貴重」と述べたのは、その意味である。

④伊藤公雄「戦争マンガとジェンダー（藤本由香里、増田のぞみとのシンポジウムの報告記録）」『マンガ研究』第8号、2005年3月

(2) 口頭発表

なし

(3) 出版物

①高橋三郎、溝部明男、高橋由典、伊藤公雄、新田光子、橋本満『新装版共同研究・戦友会』インパクト出版会、2005年4月

②新田光子『原爆と寺院—ある真宗寺院の社会史—』法蔵館、2004年2月

③高橋由典「一九六〇年代少年週刊誌における「戦争」—「少年マガジン」の事例」中久郎編『戦後日本のなかの「戦争」』世界思想社、2004年2月

④高橋三郎「日本におけるミリタリー・ソシオロジーの系譜—建部遯吾と高田保馬」大梶俊夫ほか編『現代の社会学 21世紀へ』北樹出版、2004年3月

⑤高橋三郎「戦没者の手記についての一考察—森岡清美『決死の世代と遺書』をめぐって」中久郎編『戦後日本のなかの「戦争」』世界思想社、2004年2月

⑥伊藤公雄「学術の再点検」原ひろ子／蓮見音彦／池内了／柏木恵子編『ジェンダー問題と学術研究』ドメス出版社、2004年8月

⑦伊藤公雄「解釈と実践——カルチュラル・スタディーズの射程」野宮大志郎編『＜社会＞への知／現代社会学の理論と方法（下）』勁草書房、2005年8月

⑧伊藤公雄「戦後日本のポピュラーカルチャーにおける『戦争』と『死』」阪大フォーラム2004委員会編『日本、もうひとつの顔』大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文科学」、2005年3月

⑨Ito, Kimio, *An introduction to men's studies*, Maclelland, M. and R. Dasgupta (eds.), *Genders, Transgenders and Sexualities in Japan*, Routledge.

⑩新田光子「被爆地広島における寺院の役割」中久郎編『戦後日本のなかの「戦争」』世界思想社、2004年2月

⑪新田光子「原爆と『家族解体』」山中美由紀編『変貌するアジアの家族—比較・文化・ジェンダー—』昭和堂、2004年3月

⑫吉田純「サイバースペースと公共性——情報公共圏論の展望——」伊藤守ほか編『情報秩序の構築』（社会情報学への接近 3）早稲田大学出版部、2004年4月

⑬吉田純「思想的アリーナとしての情報社会論」水谷雅彦編『情報』（応用倫理学講義 第3巻）岩波書店、2005年3月

⑭吉田純「情報公共圏論の再検討——アレントの公共性論を手がかりとした試論——」『社会学年誌』（早稲田社会学会）第46号、2005年3月

＜本報告書の構成と内容＞

本報告書は二部構成になっている。第一部においては平成 16 (2004) 年 10 月に行った「戦友会についての調査」の調査データが、第二部においては平成 17 (2005) 年 11 月に行った「戦友会についてアンケート調査」のデータが収録されている。それぞれの調査の概要及び収録データの性格について簡単に説明しておきたい。

我々の研究グループは、今回の調査の 25 年ほど前にすでに戦友会を対象とする二次にわたるアンケート調査を実施している。第一回調査は昭和 53 (1978) 年、第二回調査は昭和 55 (1980) 年に行われた。前者は戦友会の世話人に当該戦友会の成り立ちや規模、活動内容を尋ねたものであり、後者は戦友会会員に戦争体験や戦友会への参加動機などを尋ねたものであった。それらの調査の結果にもとづく研究成果は、『共同研究・戦友会』（田畑書店、1983 年刊、新装版はインパクト出版会、2005 年刊）にまとめられている。

今回の第一回調査（平成 16 年 10 月実施）においては、昭和 53 年の調査で回答のあった 978 の戦友会の世話人全員にそれぞれの戦友会の現況について回答してもらった。世話人のデータが前回調査時のものであったために、宛先不明あるいは本人死亡その他で返送される調査票が多かったが、258 人からの回答を得た。本報告書第一部には、そのうち 80 人分の回答を収録した。

第二回調査（平成 17 年 11 月実施）においては、全国の 3,625 の戦友会の世話人に戦友会の歴史、運営について尋ねるとともに、戦友会や戦後日本社会についての意識をも回答してもらった。この調査対象を確定するにあたっては、第一回調査のデータに加えて、『「戦友会」調査報告書』（社団法人元軍人軍属短期在職者協力協会、2001）に掲載されている戦友会データを参照させてもらった。

最新の情報に依拠した調査であったが、やはり回答者の死亡あるいは会の解散による調査不能のケースはかなりの数に上った。戦友会調査特有の困難を抱えた調査ではあるが、平成 18 (2006) 年 6 月現在、回答数は 900 近くになっており、回収率はほぼ 25% である。種々の困難を考えると、この回収率は、かなり高いものといってよいだろう。調査の依頼状において資料の提供依頼をしたためか、多くの戦友会から回答とともに膨大な量の貴重な資料（戦友会の母体となっている部隊の部隊史、あるいは戦友会史、戦友会の会報、戦友会の年次別データ、文集、写真集など）の提供を受けた。資料に添えられた手紙などを読むと、戦友会会員たちの戦友会への思い入れの深さを実感することができる。本報告書第二部には有効回答 867 のうちから、40 人分の回答を収録した。

巻末に第一回および第二回調査の依頼状及び調査票を添付した。

第一部

戦友会についての調査

対象	前回調査（1978）において回答のあった 978 の戦友会
実施	平成 16（2004）年 10 月
調査者	戦友会研究会
有効回答数	258（回収率 26.3%）
備考	回答文中の個人情報（氏名、住所等）は伏せ字とした

ID	1	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	菊水会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5

解散時期	平成14年
解散事情	☆昭和31年創会、平成14年第48回を以て解消。 ☆昭和39年（第9回）以降、菊水会に改称。 ☆物故者及び病欠者の漸増により、会合参加者の激減の為、“全国区”としての会を解消し、“地方区”として東京・名古屋などに分会、現在に至る。

不明事情	
------	--

意見・感想	◎会員の意識の変化について ☆中国に対しては、戦中の“後ろめた”気持ちもあり、且つ復員時に於ける蒋介石の「以德報怨」の 大恩もあって彼の国に対して常に友好ムードを維持してきた。 ☆然し、中国の最近10年間の靖国神社問題への執拗な干渉や明から様な反日政策に加え、中国人 による凶悪犯罪の激増によって、“中国嫌い”に一変した。 ☆アメリカの日本軍に対する総括に同感。「兵は勇敢、下士官は優秀、将校は無能」。 ☆戦友会が掛け替えのない親睦の場であることに終始変わりはない。
-------	--

備考	
----	--

ID	2
到着日付	2004/10/12
戦友会名	ナイト会
戦友会の現状	

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
------	--

解散事情	
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	本人死亡
----	------

ID	3	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	笹舟会	戦友会名2
戦友会の現状		戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想		
備考	本人死亡	

ID	4
到着日付	2004/10/12
戦友会名	重巡「最上」会
戦友会の現状	解散・解消した

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	2004/09/23
------	------------

解散事情	寄る年波に体力がついて行けず、其の多くは既に幽界入りをしてしまいました 現存するものとして、三菱ふそうの自動車じゃないが体の各部位に永続的疾患や間欠的に持病の発作にてこれ以上会を維持するに忍びず解散に踏み切りました 私は大正7年生れですが私より年長者は4・5人程度になりました会員の年齢層は大正4年～昭和2年の間ですので平均寿命は84才程度と思います
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	私が「リーダーシップ」を取っていた戦友会に「海防艦高根会」と旧「海軍通校普電練51期会」があったのですが何れも2・3年前に解散しました。でも近隣の戦友とは時々連絡を取合い病気見舞に行ったり葬儀に参列したり又年に1回程度は遊山に行って遊びに行ったりしています。戦友とは親族以上の親し味を持つもので骨になるか灰になる迄忘れることが出来ないものと思います。 ただ戦争程惨めで悲しく馬鹿げた行為はありません。出来得るならば全世界から軍隊と兵器を抹消したいものと考えます。人には群れる習性があり群れては頼り援け合いながら心と心の触れ合いの中で至福を味わいなが生命を全うするのが本当の生き方ではないでしょうか…松原
-------	---

備考	
----	--

ID	5	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	七友会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	平成2年	
解散事情	高令、病気療養の為、世話人の減少などです	
不明事情		
意見・感想		
備考		

ID	6
到着日付	2004/10/12
戦友会名	京阪神地区東部ニューギニア戦友会
戦友会の現状	活動している

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
解散事情	現存

不明事情	
------	--

意見・感想	特になし
-------	------

備考	世話人住所：「東京都」
----	-------------

ID	7	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	ボタン会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	平成2年8月22日に****が亡くなりました。死亡通知を賀状名簿にもとづき発送しましたので「ボタン会」の連絡は以後通知されておられません ****	
意見・感想		
備考		

ID	8	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	歩五一会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想	戦友会も段々寂しく成りました。 51iはS. 13年再結成され最初は中支にて活躍中、S18インパール作戦参加のため、中支上海を出発し、ベトナム、泰、ビルマを経て途歩行軍にてインパール作戦に参加致しました。S19. 3. 15チンドウイン河の敵前渡河に依り、インパールに向って邁進し、時はインパールに最も近い3833の独立高地に進出しインパール飛行場を眼下に見下す所迄進出したのでありますが7月5日撤退命令が出る迄激闘を続けました。が撤退時は敵に包囲され、敵包囲網を突破して脱出した者は連隊長以下参拾数名に過ぎなかった。此の間3名の師団長の損害を受けました。戦死1、戦病1、戦傷1、又連隊長は二名戦死されました	
備考		

ID	9	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	漂水会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	夫***は平成12.1月死亡致しました。 御質問に答へられなくてすみません。	
意見・感想		
備考	本人死亡	

ID	10
到着日付	2004/10/12
戦友会名	五八会
戦友会の現状	解散・解消した

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	平成16年
------	-------

解散事情	会員の高齢化に伴い解散致しました。
------	--------------------------

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	
----	--

ID	11	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	祭六〇会	戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想	(手紙) 前略 主人は（祭六〇会***）は平成十年五月に亡くなり、私はその後の戦友会の事は何も存じません。たしか****様（中野区*****）が主人の後を引き受けて下さったと記憶して居ります。 そちらへお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます ****		
備考	本人死亡		

ID	12	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	ビルマ森一二三四部隊	戦友会名2	
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	平成15年5月		
解散事情	森12224部隊はビルマ派遣の独立野戦高射砲中隊（約150名）でした。体調は当時陸士を出た大尉でしたが、途中ビルマ戦地で戦死、残る将校も全員戦死して終戦を向えました。小生一人将校として生き残り、部隊長として帰国しました。終戦直後から毎年、戦友会として親睦会を開いていたが、戦地の苦しみを皆んなで忘れないように、又靖国神社などへも亡くなった戦友の為に参りすることを行って来た。しかし寄る年波と、各人の親睦以外には目的がなかったので平成15年5月、僅か10名位の出席でしたので、戦友会を解散しました。		
不明事情			
意見・感想	戦友会については賛成ですが、あくまでも親睦会であって、他の理由が入らないほうが良いと思う。会員同志の親睦の会にしてほしい。どこの戦地であろうが、夫々大変な苦勞をして来られたと思う。それ自体は大変なことで本人同志の親睦は当然と思うが、他の目的がはいり込むと思しくない。		
備考			

ID	13	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	三八会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	*****は昭和61年9月22日他界致しましたので何もわかりません 戦友の方々も見へなくなりました。世の中もおかしくなりました。	
意見・感想		
備考	本人死亡	

ID	14	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	騎星会十四年兵会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想		
備考	資料有	

ID	15
到着日付	2004/10/12
戦友会名	六一会
戦友会の現状	活動している

他の戦友会	
戦友会名1	少飛会和歌山
戦友会名2	和歌山県板友会
戦友会名3	歩218会 (椿)
戦友会名4	関西歩230会
戦友会名5	

解散時期	
------	--

解散事情	
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	以上五会と小生の61会が6碑会です(靖国神社前に碑がある) 以上の外、歩八会(8i)歩三七会(37i)砲四会(4A)とも交際して居ります工四(4p)騎四(4k)は解散
-------	---

備考	
----	--

ID	16	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	空母隼鷹戦友会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	前日は聞取りに可成りの違いがあつて高橋三郎先生に訂正を申し入れた事情あり == に正しくお 願い申し上げる	
意見・感想		
備考		

ID	17	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	なにわ会	戦友会名2	
戦友会の現状	活動している	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情	ご調査ご苦労さまです なにわ会は海軍兵学校72期、機関学校53期、経理学校33期3校の合同期会です。上記の者が会報発行の責任者で、お答えも適任と考えます。(私はかつて名簿係を担当したことはありますが) 10月7日 市瀬文人拝		
意見・感想			
備考			

ID	18
到着日付	2004/10/12
戦友会名	広島マリアナ会
戦友会の現状	存在しているが、活動はしていない

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	平成15年
------	-------

解散事情	会員の老齢と減少のため
------	-------------

不明事情	
------	--

意見・感想	広島マリアナ会は遺族・生存者・民間人を対象とした会で発__は現地での遺骨収集と慰霊でした。
-------	---

備考	2か3か不明
----	--------

ID	19
到着日付	2004/10/12
戦友会名	一ユス会
戦友会の現状	存在しているが、活動はしていない

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	平成14年10月
解散事情	戦友のうち死亡・病弱者が多くなり会合にも出席する者が殆どなくなりました 私は会長をして おりましたが世話人も一昨年亡くなりこの事点で事実上消滅したと同様になりました

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	
----	--

ID	20
到着日付	2004/10/12
戦友会名	三気会（旧称/航気会）
戦友会の現状	解散・解消した

他の戦友会	
戦友会名1	三気五中会（旧ビルマ展開）
戦友会名2	三気工大六中会
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	2001/08/15
------	------------

解散事情	三気会本部は会長の**の自宅に在ったが本人の老令化と事務局長****入院、東京周辺の戦友少数となりたる為本部は解散したが気象神社（昭和20年月陸軍気象部に開設された神社）を中心としたグループ（旧陸軍気象部、第三、第一気象聯隊戦友会 第13野戦気象隊等）により高円寺駅南口氷川神社に一遇に移管されあるのを昭和52年秋**が発見、平成15年6/1日気象記念日に新築披露されこの神社の奉戴の為依然として気象関係部隊戦友会が維持されている ※尚詳細については要すれば**若しくは**に連絡してほしい。
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	私は旧陸軍気象部（杉並区鳥橋）の甲幹四期生、同期は90名ほど現在生存者10数名と思はれる 一年足らずの気象研習は（昭和15年9月より昭和16年7月迄）軍隊と云うよりも速＝航空気象予報を何とか習得し第一線の航空戦隊に同行して気象予報協力をしなければならず特に一般の文科系大学出身者には自信を以て気象協力するまでには相当の努力を必要とした。私は一時第64戦隊（加藤ハヤブサ戦隊）の気象班長として泰国チェンマイ基地で協力を命ぜられ加藤戦隊長戦死された前後約3ヶ月毎日天気図を携行して何とか使命を達成し得たが、この様な特殊部隊の戦友会は一般兵科とは違う面もあり終生戦友達との交流は絶えない。 平成16年10月8日記
-------	--

備考	
----	--

ID	21	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	飛十八戦隊会	戦友会名2
戦友会の現状	存在しているが、活動はしていない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5

解散時期	
解散事情	戦後五十五年を経過し戦友の皆様も体力のおとろえ病気、その他の理由に依り解散を決意し上記の平成13. 11. 3日靖国神社での祭礼の時決定しました。台湾花蓮港、北秘密飛行場で沖縄作戦に参加戦闘機飛燕陸軍三式戦闘機49機戦隊約550名（整備、操縦士事務関係者）戦隊長****少佐のもと250k爆弾を胴体の下に無線機20mm砲×4台防弾鋼板（操縦席の背と両サイドに設備してあった）鋼板を取り片通の燃料のみにて慶良間列島の米英両軍の艦船に特攻を決行29名の尊い命を失いました※次Pへ

不明事情	
------	--

意見・感想	※私達の隊は北伊勢の明野陸軍飛行学校にと昭和18年12月に編成され新鋭飛燕戦闘機50機で京阪神防空に当り、戦雲急を告ぐるに同年5月比島アンボンにヌアングレスに或いはマニラクラーク防空戦に同10月には比島沖航空戦に又レイテ島作戦にと戦果をあげ昭和20年1月には沖縄に進行せる機動艦隊に台湾に転進し屏東、高雄、台中、台北、宜蘭花蓮港へと転戦（天号作戦）に参加誠特別攻撃隊として戦友は散華しています。一方比島に残留した戦友は困難極まる戦局となり勇戦敢闘よくこれを克服し多大の戦果を収めてもその殆どが力尽きて尊い身命を祖国に捧げられています その数約400名 その為に私達戦友は戦後昭和41年にやっと連絡が可能な方が靖国神社に集合第1回の戦友会慰霊祭を行い平成13年11月3日迄約83回集い靖国神社、地方の護国神社で慰霊祭を実施して来ました。解散は致しましても有志の方約20数名は第1日曜日（4月）京都の霊山観音の下に建立してある飛行第19戦隊慰霊碑の下に集合、一方沖縄、摩文二の丘には飛行第19戦隊特攻之碑を建立してあります。毎年10月中頃と（空華の塔）全国の空軍の慰霊碑と共に私が参加慰霊の誠を尽している次第です（今年も10月23日3時より実施します）私達は戦友の慰霊をする事が日本の為になるものと信じています。又靖国神社も全国民で守る必要ありと信じています。
-------	---

備考	
----	--

ID	22	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	ニMG会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	この度戦友会の調査との事、残念ながら父**は、1998年に他界しました御協力できませんので、あしからず。	
意見・感想		
備考	本人死亡	

ID	23	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	海軍志願兵大竹一四会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想	我の会は創立以来33年今日に至っていますが、最後の二人になるまで解散は致しません。戦友の絆がしっかりして国家に尽した軍人として憂国にもえています。私の戦友会の目的①占領憲法のアメリカ式憲法を改正し日本人による日本人の憲法と教育基本法を改正しないかぎり日本人の魂は元にもどりません。それらを改正して心と魂の教育をする事が大事な事②戦友の絆を一そう深める事上記戦友会に所ぞくして憂国にもえた活動をしています。靖国神社は日本国家の心ぞうである英霊の慰霊を中心に思想の善導等活動をしています	
備考		

ID	24
到着日付	2004/10/12
戦友会名	中攻会
戦友会の現状	活動している

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
------	--

解散事情	
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	
----	--

ID	25	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	高2 柏会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	2003/01/15	
解散事情	近衛師団高射砲第2連隊は、昭和10年8月1日に、市川市国府台（現和洋女子大）に開隊、昭和13年11月24日に柏市根戸の新兵舎に転営、昭和16年7月10日に東京防空隊出動の為補充隊となり、昭和18年8月7日に解隊。昭和44年10月19日に第1回戦友会を国府津で開催したが、当時300人の会員が老化により死亡、病気等で、年々退会者が多くなり、遂に平成15年1月15日に第21回戦友会を国府津で開催を最後に解散した（平均年齢85才）（高射砲第2連隊は後の高射砲第1師団になったと思います）	
不明事情		
意見・感想		
備考		

ID	26
到着日付	2004/10/12
戦友会名	三八会
戦友会の現状	

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
------	--

解散事情	
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	本人死亡
----	------

ID	27
----	----

到着日付	2004/10/12
------	------------

戦友会名	七八連隊会
------	-------

戦友会の現状	解散・解消した
--------	---------

他の戦友会	
-------	--

戦友会名1	
-------	--

戦友会名2	
-------	--

戦友会名3	
-------	--

戦友会名4	
-------	--

戦友会名5	
-------	--

解散時期	平成9年頃
------	-------

解散事情	*** (私の夫) は平成8年春歿くなりました (戦地での事が原因の病)。未だに宛名人として文書が届く事は遺族として大変辛く寂しいことでございます。夫は世話人として力の限り奉仕させて戴き、歿くなり、引き継がれた方 (夫の幼年学校、陸軍士官学校の先輩) も痴呆状態で、活動不能となり解散致しました。本隊は現在の韓国ソウル近くですから戦友の出身地は九州方面の方が多く、戦後は福岡のお寺の境内に慰霊碑を建立 (韓国に近いのでそちらに向けて) 年々御供養しています。年賀状の通信のみになりましたニューギニアでの激闘の思い出が記されています。永年遺族 (夫人) として支えて下さった方も次々と逝去されています。夫は戦友会で一番若かったのですが。
------	---

不明事情	
------	--

意見・感想	調査、研究は何かと難事業と存じます。消滅、喪失してゆく事ばかりですから。
-------	--------------------------------------

備考	
----	--

ID	28
到着日付	2004/10/12
戦友会名	ドリアン会
戦友会の現状	解散・解消した

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	平成1年
------	------

解散事情	戦友一同年令が来たので出席者少く解散しました。小生も89才にて次の回答は出来ないと思います
------	---

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	部隊の人事係をして居た****氏に問合せ下さい
----	-------------------------

ID	29	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	二三九連隊会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	本人がH12. 11. 3他界したので分かりません。 (****)	
意見・感想		
備考	本人死亡	

ID	30
到着日付	2004/10/12
戦友会名	口水会
戦友会の現状	

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
------	--

解散事情	
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	本人死亡
----	------

ID	31	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	飛行第二十五戦隊戦友会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	平成13年	
解散事情	高齡化のため	
不明事情		
意見・感想		
備考	同封手紙、資料有 東京都品川区***** **宛てにお送り頂きましたが本人昨年死亡のため代って御返事致します 飛行第25戦隊戦友会は昭和48年に発足し、活動を続けて参りましたが、高齡化のため、平成13年に本部（全国組織のため）は解散しましたが、九州在住の方々により、年一度の懇親会を続けております。 昭和60年に行いました日米合同の戦友会の模様をお送り致します。どうぞ一読下さい	

ID	32	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	海軍第一二一設営隊会	戦友会名2
戦友会の現状		戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想	父、***は平成2年に亡くなりました。今、元気になっていれば喜んでご協力したかと思いま す。	
備考	本人死亡	

ID	33
到着日付	2004/10/12
戦友会名	広島黎天会
戦友会の現状	
解散時期	
解散事情	
不明事情	
意見・感想	
備考	本人死亡

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

ID	34	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名		戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想			
備考	本人死亡、調査票なし（手紙のみ）		

ID	35
到着日付	2004/10/12
戦友会名	衡陽会
戦友会の現状	存在しているが、活動はしていない

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	平成10年
解散事情	戦友各位それぞれ老令化し、戦友会参加者が少くなった

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	
----	--

ID	36	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	九二九部隊連段戦友会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想	北朝鮮に拉致被害者及びその家族の御苦労心身の痛等はお察しいたしますが我が戦友でソレンに捕獲された戦友の苦労その家族又サイパンガムで戦死された戦友家族この人達は全部国の為につくした人達でありますので国に於いても何かと今少し暖く取り扱ってもらえないかと常日頃思っています	
備考	世話人住所：「戦友会名簿を同封致しましたので見て下さい」	

ID	37
到着日付	2004/10/12
戦友会名	十勝会
戦友会の現状	活動している

他の戦友会	
戦友会名1	松友会
戦友会名2	旭川特幹会
戦友会名3	札幌特幹会
戦友会名4	函館特幹会
戦友会名5	北海道操縦特幹会

解散時期	
------	--

解散事情	
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	戦友会員は最短の年数をもって死亡率100%間違いなしです。いろいろ調査することありましたら一日も早くに実行すべきです。戦没者の靖国神社合祀は平和条約締結後急速に進んだようですが戦後のム責任時代を象徴するように誤りが多くなさけなくなりました。遺族会・社教・戦友会なり等立ち上がって再調しなければ誤ったままのご祭神、又は未合祀のまま永久にそのままになってしまうことを心から心配しています。 戦友会の団体世話人等最大に把握しているのはご承知かと思いますが 独立行政法人平和祈念事業特別基金 T03-5323-8710 です。西新宿2-6-1新宿住友ビル1F
-------	---

備考	
----	--

ID	38	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	八八五六会	戦友会名2
戦友会の現状		戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想		
備考	15年前に父は他界致して居り詳しいお答えが出来ず申し訳ありません。合併を重ね社名も大黒南海堂から（株）翔葉となって居ります。	

ID	39	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	ハルマヘラ貨物廠戦友会	戦友会名2	
戦友会の現状	存在しているが、活動はしていない	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情	会長（元廠長）の死去と会員の老令化、死亡会員の増加で自然消滅の型です昭和と共に消滅の型です事実上の事務局長（世話人）は小生になってゐました。正式な解散宣言などは実施せず自然消滅の型で大変残念です		
不明事情			
意見・感想	わが貨物廠戦友会について 正式の名称は第二方面軍（河南大将司令官）の隷下部隊に属する野戦貨物廠（食糧、医療、衣服を管理支給する任務を持つ）非戦闘部隊で純然たる後方勤務部隊でした。貨物集積場所に対する空爆は受けましたが、終戦まで一度も戦闘行為はありませんでした。「ハルマヘラ貨物廠」戦記 昭和36年出版 戦争体験を通して得た友情は大切にいつまでも友情を確かめたかった ①大東亜共栄圏の確立を目的とする大東亜戦争に参加し現在南方諸国の独立（欧州諸国の植民地からの脱脚）を果たした結果を得た現状は正に大東亜戦の成果として喜ばしい限り 現地民と裸で接し親日民族となった現状の台湾を見れば同じような親日民族が多勢いる事を見ればわかる、日本民謡や童謡を覚えて日本語で歌うインドネシア人の現状を見てもわかる親日民族の姿を見ればわかる ②大東亜共栄圏の確立こそあの戦争であって、米英を相手とする戦争ではなかったと信じます。海での戦いを目的とした巨艦（むさし・金剛）の建設より空戦を予期した飛行機の建造を怠ったのは大失敗空中戦で敗北したのだ。 ③戦友会があれば、往事の愛国心や家族愛、郷土愛等について往事の国民感情を子々孫々まで伝えることができた。学校教育で愛国心郷土愛等を持つ為の教育に役立つ ・八紘一宇（懐しい）の大目的と日本の立場等 戦争の目的は領土慾（地図を赤く日本領土にすることではない） 世界を家族にし誰がその首領になるか等遠大な構想を練りたいものです		
備考			

ID	40	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	駆逐艦春風会
戦友会名	オール水雷会	戦友会名2	
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	昭和54年		
解散事情	昭和54年迄「オール水雷会」は存続致しましたが昭和54年3月20日「海軍水雷史」を発刊し、その記念祝賀会を最後として解散致しました。		
不明事情			
意見・感想	南西方面艦隊指令部会（GK下会） 二十二戦隊（監視艇部隊）（黒潮部隊） 上記共隊員（生存）が老齢の事が理由で夫に解散しました（約5～6年前）		
備考			

ID	41	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	徳島県郷友会
戦友会名	元55師団143連隊方三中隊	戦友会名2	143連隊戦友会
戦友会の現状	存在しているが、活動はしていない	戦友会名3	ビルマ戦友会
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情	ビルマ戦友会慰霊祭毎年恒例8月盆踊り中143連隊戦友会毎年10月第一日曜日（先日10月3日慰霊祭終り） 数名の戦友は思い出しては亡き戦友のことなど話して親睦中三鬼会は自然消滅など親部隊旧歩兵題14連隊戦友会は活動し、別に徳島ビルマ会と云うパゴタ会は阿波踊中にパゴタ塔前で精力的に活動 連隊会とビルマ会の事務局長**** それと上記の外に英霊に答える会があり（市が主催）全国組織各県にあり 全国英霊に答える会会長 参議院議員 板垣正氏 英霊とは国のために尊い命を捧げられた戦没者の「みたま」です		
不明事情			
意見・感想	日本の歴史（靖国神社）首相参拝で中国、韓国など内政干渉と思いますが私も戦判と同じ陸軍歴をもつ？ 太平洋戦争時、若者はなぜ恋人と別れ、国に命を捧げざるを得なかったかについては上之郷利昭氏 地方テレビの研究（長野県長野市）でできく。 1. 私は毎年10月21日学徒動員を思っ合掌 太平洋戦争半ば戦局悪化の中（学徒出動）それに昭和18年12月4日たすき掛けて整列の学徒出動をKKフォトで見た大学キャンパスに忍び寄る暗い影私の知人も特攻隊を志願して戦死され合掌本日奇遇な話し、体験を申しすみません 私大正3年4月29日生れ90才卒寿の祝を市長さんから敬老の日頂いた 昭和14年入隊16年第二次戦争12月泰国敵前上陸、約8ヶ年抑留も加算し22年3月後・同5月30地方公務員パス教壇に立つ 昭和48年4月退職し生涯学習体験修業中いろいろ申し恐縮でした 以上何かのお役に立ちたい靖国神社国家護持の末席です 平成16年10月9日 とりあえずすみません 合掌		
備考			

ID	42	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	駆逐艦浦波会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5

解散時期	2004/10/23
解散事情	昭和52年浦波会結成、毎年9月23日呉海軍墓地に於て慰霊祭を催して来ましたが高令になり物故者も多今回解散することになりました。

不明事情	
------	--

意見・感想	私共の浦波は昭和19-10-26日レイテ海で沈没し（半数戦死）昭和52年呉海軍墓地に浦波慰霊碑を建立し毎年9-23日合同慰霊祭を催して参りました。戦友に会ふのが一の楽しみとして来ましたが高令になり若い人でも80才となり物故者も多く今回で解散することに致しました。 呉には100余の艦船の慰霊碑があり毎年参加して参りましたがどうしてもあんな馬鹿な戦争をしたものだと思つづく思います。呉市には海軍保存協会があり他の戦友会は呉市の方に尋ねて下さい。
-------	---

備考	
----	--

ID	43	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	橋本30会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	平成12年11月21日（第25回）	
解散事情	昭和51年11月27日第一回戦友会を福岡市で開催以来都府県を中心に毎年開催平成12年11月21日第25回戦友会最終回を岡山県総社市で解散 独立中隊の小部隊で昭和16年3月ニューブリテン島で全滅会員数少ない解散の主な理由は少ない会員が全国に点在していることと高齢化により健康上の理由で参会者が減少している 最終回の戦友会には参加会員11名夫人6名計17名の参加者でした	
不明事情		
意見・感想		
備考		

ID	44	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	ビルママー八会	戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	45	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	敷波会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	平成13年9月23日戦没者追悼式の折	
解散事情	解散後生存者は4名です 会長も亡くなり遺族の方も世代が変わり戦争を知らない方がほとんどです過去50年間世話をしたからと遺族のほうから申し入れがあり決断しました。 過去の戦争のことは現在の世代では無関心です私共が国のため生命をかけて日本国又其の民族のために戦った事を現代の者が知って頂き度いと思います。 ・連絡をしても世代が変わりほとんど無関心である ・敷波沈没（轟沈）当時の様子が臉に浮びます ・敷波の事でしたら何時でも御返信致します	
不明事情		
意見・感想	他の会とは交流がありません	
備考		

ID	46	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	九二九東寧会	戦友会名2	
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	平成16年六月らしい		
解散事情	良くわからないが集まる者が少なくなったからだと思います		
不明事情			
意見・感想	一時ははなやかな時代もありましたが今は皆年も取ったので昔の様なわけには行かない（小生86才）のが正直な処だと思います。 御役に立たなてごめんなさい		
備考			

ID	47	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	中野憲兵学校四期生会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	平成12年	
解散事情	戦友会は後継者新会員の無い一代限りのものです。元気の中は良いが年々死亡疾病者が多くなり最後の会合では出席者11名遺族3名の14名でした。特に物理的に会合への参加も無理という事で30回を経て解散しました。	
不明事情		
意見・感想	靖国神社の戦友会の慰霊祭も最近では極く数件となりました。老令化が進んだせいで解散する会が今がピークです。会員が亡くなっても遺族の方達で継続することは困難ですから一代限りです。 以前この種のアンケートを受けてから20年余、今は以上の理由で解散する会が多く、引き続き継続していく会は少なくなっています。このアンケートは戦友会末期のように思います。 我々もう少し元気な間にアンケートがあったら、もう少しお役立にたつたと思います。ご苦労様です。	
備考		

ID	48	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	鳥海会・若月会	戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想	前略 父****は昨15年3月永眠しましたので、お役に立てません。よろしくお願いします。草々		
備考	本人死亡		

ID	49	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	騎矢第四〇連隊会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	父は平成3年に92才で亡くなりました。終戦のとき中学校2年生であった息子の私が国家公務員を平成3年に定年退職し、その年に父が死亡いたしました。戦友会については残念ながら全く関知していませんので、現在どうなっているか分かりません。終戦後頻繁に父を訪ねてくれていたかつての部下の人たちも殆ど亡くなられたと聞いています。お役に立てず申し訳ありません。	
意見・感想		
備考		

ID	50	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	戦車第三師団機動歩兵第三連隊会	戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	51	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	工華会	戦友会名2	
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	2004/04/22		
解散事情	会員の老令化により全国組織を解散 但し県単位、又はブロック別、又は区隊別（クラス別）等が有志により継続或いは新規に設立されて運営されている。同窓会は不滅なりーの感あり		
不明事情			
意見・感想	戦後59年（平成16年現在）を経過し当時21才であった小生、本年80才である。50名のクラスメートもその半数近くご他界になっている。そして健康な者は僅か数名が実情であるから、同窓会の運営は無理である。折角のご研究に水をさすようですが、調査時期を失したとも言えましょう。数千人の会員をもった工華会は、全国各地に支部が結成され40年運営されてきました。台湾、韓国にも同窓が多くいるので支部が結成されているものゝ、本部を解散したので自然消滅となるでしょう。戦後、同窓会（戦友会）設立に当り〔政治〕〔宗教〕をぬきにして〔経済〕〔文化〕的に意をそゝいだ活動を実施する様にしました。 母校で同じ釜の飯を食ふ先輩、後輩の絆は学窓を巣立ち、任官し部隊に赴任しても、そこに先輩、後輩の隊はつながっていた。同窓会には同期の横のつながりがあり、先輩、後輩の縦の絆は生じてくるので、戦友会は楽しい集いであると共に心強い仲間の集団であった。		
備考			

ID	52
到着日付	2004/10/12
戦友会名	弓錦会
戦友会の現状	解散・解消した

他の戦友会	
戦友会名1	全ビルマ会（旧ビルマ英霊顕彰会）
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	平成12年
------	-------

解散事情	1. 全員が老令化したこと（小生は87才） 2. 死亡者、病弱者が増えたこと（会員の減少） 3. 東北地方、北関東地方出身者が多く、集まるのが難しい。
------	---

不明事情	ビルマ「インパール作戦」の生き残りです。小生は責任者として靖国神社には年、数回参拝しています。
------	---

意見・感想	大学生の方々が戦友会の研究されているとは敬服いたします。戦争の実態が間違って伝えられたり、「反戦」即「平和ボケ」の風潮は残念です。 御研究の進展されることを祈念いたします。
-------	--

備考	
----	--

ID	53	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	九四会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	平成7年11月	
解散事情	s16. 9. 23千葉県津田沼で編成した鉄道九連隊四大隊の戦友会です。戦時中有名な泰緬鉄道建設に従事、戦後戦犯で小隊長（***氏）が絞首刑になりました。部下を極刑に到らせた大隊長が戦後29年8月供養祭を行って戦友会発足、毎年靖国神社に集まり、盛時には135名も参集しましたが、老令化・物故者に多くなる平成7年は40名で益々激減の傾向で連隊本部の戦友会に合流しましたがその連隊の戦友会も昨平成15年解散、但し結成の日9月23日靖国神社で「永代神輿」を奉納して亡き戦友の冥福を祈ることにしました（2頁の戦友会参照）	
不明事情		
意見・感想	私が召集令状を受けた昭和16年9月、前任同僚が貴君に令状が来たのですか、それでは日本は負けますねと慨嘆された程貧弱な体格の私が南方戦線を驥尾に付して走り、シンガポール作戦、ビルマ剪定作戦そして泰緬鉄道建設スマトラ横断鉄道建設に従事、終戦、2年間JSPの捕虜体験を重ねて無事復員できましたので感謝の気持ちが戦友会の事務局を担当してきました。 背広から軍服に着替えて1ヶ月後（16年10月）佛印3ヶ月後（16年12月）、シンガポール陥落に敵前上陸しているのですから、軍人としては最低のグレード 未教育補充兵のまま軍曹の階級を貰い復員しました。 戦友会（九四会）では毎年会誌（A5版100頁程の冊子）を発行してきましたが、42号を最終号としました。バックナンバーを私は揃えていますけど読み返すと心を癒されます。亡くなった戦友が髣髴と再現してくるのです。私は今JSP（日本降服国民）研究会に入り若い大学の先生方の研究に少しでも戦争体験を語り役立てたいと望んでおります 満85歳です	
備考		

ID	54
到着日付	2004/10/12
戦友会名	呉海十三志第二十分隊会
戦友会の現状	活動している

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
------	--

解散事情	
------	--

不明事情	
------	--

意見・感想	広く国内の調査と思いますが、大変に御苦労様です。
-------	---------------------------------

備考	
----	--

ID	55	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	歩八二会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想	1. 高令者になり集会の参加者が激減したが一人になっても靖国神社で慰霊祭を実施したいので三年に一度行っている 2. 在京者は少数であるが春は親睦会秋は軍旗祭の名目で東京で開催して居る 3. 靖国神社へは天皇のご参拝が望ましい 4. 首相の靖国神社参拝について他国よりの干渉は不当である 戦死者に対する気持は宗教心ではない 国民が国家のために亡った方々の慰霊するのは当然である	
備考		

ID	56	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	判らない
戦友会名	野重八の一会	戦友会名2	
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	平成8年頃と思います		
解散事情	戦友会員が老令となり（私も1917年生れ87才）自然に誰彼となく集合せず音信も途絶えています。生存か死亡も確認の手段はない恐らく生存していても身体不自由と推測できます		
不明事情	すでに90才に近い戦友会員なので連絡は取れず文通も途絶えた殆ど生存していないと推定できる。戦場で身を酷使しているので死亡か寝たきりか確認できない（私は達者で未だ車の運転もしている）戦友のこども達も60才以上で戦友会に対する関心がない終戦末期の戦いの経験のない単に同期生的戦友会は存在すると思うが同じ戦友会でも戦場経験者と性格の違う会である		
意見・感想	1. 1945年以前の日本の国情や世界的背景は既存の書物以上に深刻であり日本人の知識も狭量で判断能力も乏しく動物的相互依存の意識が強く附和雷動で自己を主張していた　つまり精神的鎖国時代で世界の態勢に対しては不知であった。従って戦争礼賛に見えるが社会環境が人間の性格を作っていた。出征兵士を万歳で送る姿、兵士は雄躍として戦場に向いた勇敢に死を恐れず戦い何等疑念を持たない。精神構造の解析は至極単純明快である戦友会はその過去に対する解雇に共通の理念を持ち現代と対比しつつ語り合う会で戦争礼賛者の集合ではない。1個の人間が追いつめられて単一無碍の精神状態の過去をお互いの立場に立って語る懐しい友人の会と理解して欲しい 私も息子に戦争のことを語ったことはない息子も聞こうとしない　貴君等が未知の世界を知ろうとする気概に感謝する。ご健闘を祈る。（87才老）		
備考			

ID	57
到着日付	2004/10/12
戦友会名	獅子会
戦友会の現状	わからない

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
解散事情	

不明事情	父は昨年平成15年10月5日亡くなりました。俗名****封筒に書きました住所には現在無人です。
------	---

意見・感想	
-------	--

備考	本人死亡
----	------

ID	58	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	長門会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	父****、H13.4.17. 78才にて永眠致しました。戦友会関係は全部父がたずさわっていたので、申し訳ないのですが、私共ではわからないのです。	
意見・感想		
備考	本人死亡	

ID	59	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	九重会	戦友会名2	
戦友会の現状	わからない	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情	主人がなくなりましたので（平成9年）その後の事はしりませんたぶん解散したと思います		
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	60
到着日付	2004/10/12
戦友会名	七一会
戦友会の現状	活動している

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
解散事情	

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	
----	--

ID	61	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	十月会	戦友会名2	
戦友会の現状	わからない	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情	父、***は22年前に他界しております。戦友会のメンバーの方々と、その後交流もなく、会が現在存続しているかわかりません。 御協力できず申し訳ありません。次女**		
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	62	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	特空会	戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想			
備考	本人死亡 父は25年前に他界しました。現在の事務局は下記と思います問い合わせして下さい。（活動しているか否かは分りません）		

ID	63	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	連隊砲中隊会	戦友会名2	
戦友会の現状	わからない	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情	平成10年10月他界のため其の後の事はわかりかねます。		
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	64	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	檜九八会	戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想	折角調査票いただきましたが残念ながら平成12年6月20日、死去いたしました。 生前中は戦友会のお世話をよくさせて頂いておりました。 長い間戦争に行き苦労しましたが老後は趣味の写真等を楽しみ90まで幸せに生きておりました 2004年10月7日 妹 ****		
備考	本人死亡		

ID	65	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	うづき会	戦友会名2	
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	平成7年頃と思います		
解散事情	貴会からのお知らせを頂きました「うづき会」の世話人****は平成10年7月病気のため死去いたしました。そして後継者のないまま自然の形で解散、解消してしまいました。故人は病を持ちながら会のため年に一度の集会や旅行会など会員の方々に精一杯尽しました。靖国神社にも登録なき戦友のために祈りつづけました 私（故人の姉）は靖国神社に「うづき会」のなくなったことを知らせ今は弟のかわりに私個人の名で英霊のためみ魂やすかれと祈っております 会のことは殆んど外側から見ておりましたので詳細はよくわかりませんが以上の次第で研究会の皆様のお役にはたちませんがどうぞ不悪ずご了承下さいませ （目が悪いので乱筆お許し下さい）		
不明事情			
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	66
到着日付	2004/10/12
戦友会名	ピンタン・チモール会
戦友会の現状	

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	
解散事情	

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	
----	--

ID	67	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	ラバウル・マヌス親睦会事務局
戦友会名	井関会	戦友会名2	大津戦友会事務局
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	1991/10/27		
解散事情	竜神ロッチ1泊出席者6名内3名フロに入るにも杖ついて健者なものは3名もう戦友もダメと解散と決意 年には勝てません復員45周年 どんどん亡くなっていき健者な者現在2名～3名		
不明事情			
意見・感想	私15歩兵にて現在85才毎年〃死亡通知有戦後60年58.1.7発刊 われら従軍回想記を見て昔を思い出して居ります (私達で造った本)		
備考			

ID	68	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	バルハシ会	戦友会名2	
戦友会の現状	わからない	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情	バルハシ会は日本全国に会員がいると聞いていますが、私の父が世話人をしていたと思います。 しかし父が亡くなってから10年が過ぎ、すでに解散したのかも分かりません。お役に立てず大変申し分けございません		
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	69	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	独工30会	戦友会名2	
戦友会の現状	存在しているが、活動はしていない	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期	平成5年		
解散事情	名前だけは存在しているが、下の理由で解散したと同じです ①本隊は終戦時には殆んど全滅で復員者も僅かであった。 ②戦後毎年一回は戦友会を開いていたが、年と共に老齢となり次々と他界される方や、老衰のため出席者が少なくなって来た。 ③毎年戦没者の追悼会を施行していたが、これも出来なくなったので、拙宅が寺院の為爾後拙寺でお守りしている		
不明事情			
意見・感想			
備考			

ID	70	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	ジャワ・モートラン会	戦友会名2	
戦友会の現状		戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	71	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	独守歩四会	戦友会名2
戦友会の現状		戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想		
備考	メール 初めて連絡させていただきます。 私は、株式会社不二家の秘書室の***と申します。 本日、貴研究会より弊社内の****宛で、戦友会に関するアンケート依頼が、郵送されて到着致しました。 ****は、弊社取締役→社長→会長を歴任し、昭和60年（'85）年6月に退任し、平成9年10月に逝去しました。 従いまして、折角ではございますが今回のアンケートにはご返答できかねますので、何卒ご容赦ください。 よろしくお願いいたします。 株式会社不二家 秘書室 ****	

ID	72
到着日付	2004/10/12
戦友会名	暁風会
戦友会の現状	解散・解消した

他の戦友会	
戦友会名1	
戦友会名2	
戦友会名3	
戦友会名4	
戦友会名5	

解散時期	平成13年
------	-------

解散事情	会員の老令化、退会者の増加等による
------	-------------------

不明事情	
------	--

意見・感想	
-------	--

備考	
----	--

ID	73	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	日本インドネシア友好団体協議会
戦友会名	ジャワ会	戦友会名2	
戦友会の現状	活動している	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情			
意見・感想			
備考			

ID	74	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	シバオ隊の会	戦友会名2	
戦友会の現状	わからない	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情			
不明事情	***は平成16年1月30日永眠しました。戦友ノ方も年で2、3名は元気な方がいられますがお年で病院に入院したり退院したりの様で活動はしていません妻ノ***ヨリ		
意見・感想			
備考	本人死亡		

ID	75	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名		戦友会名2
戦友会の現状		戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想	突然の通信何と云ってよいかわかりません。 ****の家内の***と云ひます。夫**わ（77才死亡）平成14年11月11日に死亡致しました。何しろ戦友会が大好きな人でした。1年に何回も行って居りました。私達の年代わ主人も同じ主人も志願兵です。若者わ皆家にみるとへんな目で見られる時代でした主人も軍隊に行つて通信学校に行ったそうです。何しろ16、7才頃だと思ひます。海軍通信兵です。戦争と云ふか軍隊の話が大好きな人でした。お話が出来ず残念です。 誰かをお知らせしたいのですが、主人わ年下の方だったので人をお知らせ出来ません。すみません たゞいつも云つてた事わ軍隊程よいところわないと申して居りました。変な人だな一と思つてみました。とりあえず死亡のお知らせだけですいません ***	
備考	本人死亡 第14号駆艇乗組員のかんたんな名簿わあります。海軍58期生とか色々変つたのでせう	

ID	76	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	七親会	戦友会名2
戦友会の現状	わからない	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情	***S58年12月19日才で死去されました 現在私養子として居を引継ぎしております	
意見・感想		
備考	本人死亡	

ID	77	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	福島県安達郡ビルマ会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情	高令、病気（高血圧、心臓病、糖尿病）等による	
不明事情		
意見・感想	次の事について戦友会は政府に対し要望して解散するものです。 1. 東京裁判史観から脱け切れない。（日本には戦犯はない） 2. 自分の祖国を侮って恥じようとしめない。 3. 国のため命を捧げた者が国によって祀られないとはどうしたことか。	
備考		

ID	78	他の戦友会	
到着日付	2004/10/12	戦友会名1	
戦友会名	ニューギニア戦友会	戦友会名2	
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3	
		戦友会名4	
		戦友会名5	
解散時期			
解散事情	(手紙) 唯今****宛の封書頂きました 良人**は五年前十一年十一月十五日に八十八歳を以て他界致しました生前はニューギニア線愉快に何かと力をそそいで居りましたが何分戦友の皆様も高齢になられ継続がむづかしくなり解散とゆうことになったようです。その様な訳で戦友のご家族ともいつしか疎遠になりました この度のご要望にお応え出来なくてすみません年若いのによくお勉強なさいますねお励み下さいかしこ 高橋様		
不明事情			
意見・感想			
備考	本人死亡 調査票なし (手紙のみ)		

ID	79	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	朝鮮第二二部隊戦友会	戦友会名2
戦友会の現状	解散・解消した	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期	平成16年度	
解散事情	会員老齢の為	
不明事情	歩兵第78連隊戦友会 朝鮮第22部隊戦友会 龍山78・22会（原隊が、'ソウル・龍山だったので…）	
意見・感想		
備考		

ID	80	他の戦友会
到着日付	2004/10/12	戦友会名1
戦友会名	屋宇茶会	戦友会名2
戦友会の現状	活動している	戦友会名3
		戦友会名4
		戦友会名5
解散時期		
解散事情		
不明事情		
意見・感想	父15年前に死亡いたし現在私は（長女）他家に嫁ぎ母は高齢にてほとんど関係いたしてませんくわしい事は解かりません 戦友はとても父にとり大切でした 平和を祈り最後がんにて死亡	
備考	本人死亡	

第二部

戦友会についてのアンケート調査

対象	3,625 戦友会※
実施	平成 17 (2005) 年 11 月
調査者	戦友会研究会
有効回答数	867 (回収率 23.9%)
備考	回答文中の個人情報 (氏名、住所等) は伏せ字とした

※ 「戦友会についての調査」(平成 16 年 10 月実施)において回答のあった戦友会と、『「戦友会」調査報告書』(社団法人元軍人軍属短期在職者協力協会、2001)に掲載されている戦友会のうち調査可能と判断されたものの総計。

整理番号	1	戦友会正式名称	近歩2会
------	---	---------	------

1. 名称とその由来

近歩2会 元近衛兵第二聯隊出身者の集まりである為

2. どういうつながりをもとにしているか

近衛兵要員として選抜された栄誉を誇りとし 死を鴻毛の軽きに比して一意滅死奉公の誠を捧げた仕事を偲び 懐しんで共に努力した者達が会へる喜びの為

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

昭和43年北の丸公園に我が近衛歩兵第二聯隊記念碑が建立され同時に全国近歩二会が結成された

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

役職や階級のちがいを意識した事ありません。

整理番号	2	戦友会正式名称	輜41会
------	---	---------	------

1. 名称とその由来

--

2. どういうつながりをもっているか

--

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

--

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

--

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

--

6. 戦友会運営の苦勞

	戦友会会費	0	会費額
自由のつらみ			

7. 戦友会の目的

	戦友会会費	0	会費額
自由のつらみ			

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

	戦友会会費	0	会費額
自由のつらみ			

9. 戦友会の意味や役割

	戦友会会費	0	会費額
自由のつらみ			

10. 戦後日本社会についての考え

	戦友会会費	0	会費額
自由のつらみ			

備考

会誌送付

整理番号	3	戦友会正式名称	
------	---	---------	--

1. 名称とその由来

--

2. どういうつながりをもっているか

--

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

--

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

--

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

--

6. 戦友会運営の苦労

7. 戦友会の目的

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

備考

死亡 (H14. 9. 21)

整理番号	4	戦友会正式名称	予科練雄飛会愛媛県人会
------	---	---------	-------------

1. 名称とその由来

通称雄飛会

2. どういうつながりをもとにしているか

予科練という同窓の堅い絆により生れた。(先輩後輩の絆は筆舌に尽きせぬ堅い結束があった)
1期から24期までの戦友会であるが内容は各期毎にも戦友会があり又、戦闘機隊とか水上機隊とか艦爆隊、艦攻隊等機首別に結成されてもいる

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

戦後にやゝ落ち付きを取り戻した昭和30～40年代に世話役が表れ口伝えに住所、生死の有無をつきとめ拡大して行った。愛媛の場合は昭和30年の後半に生存者の数名で声を揚げた。大会は昭和39年と思う

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

結成当初は10～20名程度であったが、除々に拡大し最盛期は昭和55年頃〇〇〇会員250名を数えたが、病気其の他で減少を続け現在の会員数は150名だが大会出席者は60名程度である。昭和50年に会報を出し現在まで続いている (S50年～平成15年までは年2回の出版であったが現在は1年1回となっている)

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

戦時中の階級意識は戦友会には無い
役員の決め方は上期の順から選出し、席順等はない
大会係員等も期別に割当てて運行している

6. 戦友会運営の苦勞

愛媛の場合は愛媛出身予科練の戦没者慰霊碑を平成元年に建立し（戦没者110名）毎年慰霊祭を斉行している。慰霊祭には遺族を招待しているが、同窓の会員並びに遺族の方々も年々減少している（自然の成り行きである）ので、物理的苦勞よりも精神的苦勞が強い
同窓会員も末期の24期でも年令76才が最年少だから以後の成り行が心配である

7. 戦友会の目的

戦友会の目的は会員（同窓＝予科練）相互の親睦と遺族に対する敬愛の念、同じに戦没者の慰霊顕彰にある

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

愛媛の場合は愛媛出身予科練の戦没者慰霊碑を平成元年に建立し（戦没者110名）毎年慰霊祭を斉行している。

〔別途送付書籍あり〕

9. 戦友会の意味や役割

同窓会員相互の親睦がはかれ、慰霊碑の顕彰が出来たこと、戦後に於ける予科練の評価及び戦友会による歴史の語り継ぎは大きなものと信ずる（如何にして語り継ぐかが問題）

10. 戦後日本社会についての考え

若干15才の若者が国の存亡をかけた歴史的戦争に身を投じ、人生の岐路に立った時、日本の指導者は何を画策していたか。戦後の社会では其の青少年の軍隊教育が少なくとも国土の復興に役立ったと確信する

閉塞されていた日本国を見た若者たちは復興して邁進し苦難に耐えて来た。即ち規律を守り（ルールを守る）忍耐強く華美に走ることなく、軍人たるの本分のいゝ所を採り、常に五省の反省を行った。現在でも実行している海軍の5分前の精神と出船の仕〇は社会に通じるものである

総て5分前には態勢を整え、消防車の如く即出動の出来る姿勢をもっている（総て心のゆとりである）

備考

整理番号	5	戦友会正式名称	五月会
------	---	---------	-----

1. 名称とその由来

部隊名称、暁会と称す部隊の編成3中台在り - 私どもは1中隊約400名五月会と私が復期を採りました。
(2度と祖国の土を踏むとは思いませんでしたから)

2. どういうつながりをもとにしているか

私の部隊は大正6年、7年、8年、9年戦争要員として生れた様な年令の方々です。今は高令の身と成り平成15年で戦友会も解散致しましたが個人で靖国参りして居ります

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

昭和45年頃より1部戦友達に依り下話などがあり各人の住所不明のため住所判明するに時間が掛り47年に成り結成の運びとなりました
第1回の総会は箱根で催しました 70人位

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

部隊戦友会(暁会) 靖国参拝(平均)200人位
1中隊 (五月会) 70人位
(注) 会員の分布状況は南・沖縄より北は北海道○
行事出席者は三十数年の統計・平均50前後です

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

- (1) 役員は互選に依り選出されている
- (2) 会費平等
- (3) 軍隊時代の階級により席順を決めています

6. 戦友会運営の苦勞

戦友会も高令の身となり（80才以上と多く）H. 15年に解散いたしました。30数年の間家族同様の間柄
戦友とは、又、同期とは、苦勞分けあった仲間・運営には余り支障なく奉公させて頂きました。

7. 戦友会の目的

会の目的 1、慰霊・親睦
別に変化は感じませんが

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

上記に関し1切なし

9. 戦友会の意味や役割

私共の会は政治的な意図など全く無く会員親睦と慰霊のために発足した会です

10. 戦後日本社会についての考え

私共、戦前派の教育を受けた者は、現社会に馴染むには正直申して嫌な気持ちにも成りますが、自由社会とは、
今の若者達の姿を見るに日本の将来を感へざるを得ません老人の1人です。

備考

会員の激減により、平成15年解散

整理番号

6

戦友会正式名称

みなと会

1. 名称とその由来

在スマトラ近衛歩兵第三連隊、第三中隊の隊員が昭和22年の内地復員、帰還後、組織した親睦会です。会の名称は内地帰還のため乗船したところが北部スマトラ「ペラワン港」でしたので「みなと」と命名。

2. どういうつながりをもっているか

近衛歩兵第三連隊は赤坂檜町にありましたが、昭和15年6月、近衛師團動員会により、主力は中、南那へ出動。昭和16年、大東亜戦争開戦後仏印、マレー、シンガポール、スマトラ作戦に参戦。昭和20年現地に連合軍に降伏、昭和22年、内地復員まで、連隊の体制は堅持された。

編成は連隊本部及直轄の連隊砲、速射砲、通信の各中隊、及び3ヶ大隊（各大隊各々4ヶ中隊）。

「みなと会」員は旧第1大隊第3中隊所属の人々。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

「みなと会」の発足は昭和22年、中隊の復員後であったが、明確な年月は不明。

会の組織を発意したのは、主として在京の第3中隊復員の方々。会合が定期的に開催されるようになったのは、昭和58年と記憶す。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

会員数は103名であったが、毎年減少。

戦友大会出席者は最盛期には約30名程度。（会場は常に東京と定められていたので、地方遠隔地の人々の出席は殆ど若干の例外を除いて無し）。近衛連隊は他の連帯と異り日本全国各地より、地方の名家の指定を召集し、編成されていた。（地方会員との連けいは年報による）

会員の高齢化にともない「みなと会」は平成13年を以て解散となる。最終定期会出席者は15名程度。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

戦時中の役職や階級の違いは、「みなと会」内部では、全くなし。ただ、便宜上、中隊長であった者が会長職に就任し、世話役の中心となったのみ。

6. 戦友会運営の苦労

特に著しい苦労はなかった。毎年定期大会〇に「みなと会」便りなる会報を出していたので、その編集の苦労位。

前述の如く会員が、全国に居られるので、年大会に出席出来ぬ人々の動静はこの年報により会員に報告。

7. 戦友会の目的

親睦と昔話りの楽しい場であった。

時代の流れによる変化は全くなかった。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

「みなと会」会員が所属していた「近衛歩兵第3連隊記念碑」はかつての連隊の所在地であった赤坂パークビルそばの銀杏ヶ丘にあり。

「みなと会」のみの記念史や記念碑はない。

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

備考

1. 名称とその由来

由来 通称「さくら会」 正式名称「戦車17のさくら会」
構成メンバーの所属した中隊のマークが「さくら」であったから
戦車の砲塔に「さくら」の花びらが描かれていた。

2. どういうつながりをもとにしているか

部隊のつながり 戦車第3師団戦車代7聯隊第4中隊戦友会
戦友会の構成単位としては、一番小さいグループだと思う
ちなみにこの聯隊は昭和17年に千葉県習志野にあった戦車2聯隊補充隊で編成
中国の蒙疆に駐留、昭和19年春から河南作戦で洛陽方面に行動、其の後中支湘桂作戦に参加した。一部は師団
主力と共に河南省にあって、老河口作戦に参加した。
参考迄に書き添えますが、私は仙台陸軍幼年学校から陸軍予科士官学校を経て陸軍士官学校を卒業しました
が、これらの学校関係は「仙幼会」「陸士五十七期生会」等の名称を用い戦友会とは、別の存在になっています。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

昭和63年頃他の中隊は、既に戦友会を立ち上げていたが、私たちの中隊は出遅れていた。其れより前篤志の他
部隊の戦友が、サイパンから傷ついた戦車を持ち帰って、靖国神社に奉納した。これがきっかけで昭和59年に
「靖国戦車保存会」発足、全国の機甲関係者に募金の呼びかけが行われた。そんな現実的な必要性もあって、
大宮在住の戦友（昭和17年入隊の****氏の提案）により戦時中の上級者と言う事で私の名前で、平成4年3
月朝日新聞の戦時中の人探しの欄に投稿し、正存者の安否の確認を行ったが、これには、以外に反応は少なく、
終戦後戦地で作成した、ガリ版刷りの名簿を持っていた人が、いたので、それを元に手紙や電話で照会して、
以下の消息を把握することが出来た。其の内軍隊時代に全く反応しないとか、喜ばない者、何らかの事情
のありそうな者、嫌悪する者もいて、下記に示す生存者105名の内、約80名近くに戦友会発足を呼びかけて、平
成4年6月11日35名の参加を得て戦友会は発足した。於て熱海。
当時、把握した、人数は戦没者17名、生存者105名、戦後死亡者31名、未確認者85であった。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

戦友会参加者

平成4年：35名 平成5年：32名 平成6年：23名
平成7年：29名 平成8年：26名 平成9年：19名
平成11年：18名 平成12年：17名 平成13年：15名
平成14年：14名 平成15年：14名 平成16年：15名
平成17年：11名

会員数は当初80名弱に連絡していたが、最近30名弱となった。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

戦時中の階級について

当初会長は私（中尉）で、別に中隊出身で聯隊副官になられた、大尉の方を名誉会長としていたが、間もなく
名誉会長は高齢の為辞任されたので、私は若輩のため遠慮して代表幹事として、お世話しています。幹事は
開催地によって其の都度お願いしていますが、地区別ですので、階級には関係ありません。

成るべく往時の階級に拘らないようにしていますが、部屋割り等は自然階級や、入隊年次別になっています。
それが一番気が置けなくて良いようです。

6. 戦友会運営の苦労

運営に就いて

当会は幸い私の近くに世話好きの方が居ります。そして東京には同じ戦車の乗員だった方が居ります。そんなメンバーで相談いしながらやっています。一人ではとても出来ません。最近会員自身の体調不良、或いは家族の病気等で出席者が減って参りました。これからどうするかが、悩みの種です。会は一年に一回開催です。今まで「会報」を13号まで発行しました。名簿と会員の投稿、消息等が内容になっています。残部がありませんので、送る事は出来ません悪しからず。

7. 戦友会の目的

戦友会の目的は御説の通りです。

近頃加齢と共に来年の戦友会出席を生きる目標にしている方も居るように感じます。時代の流れと共に変化は感じておりません。往時の友情によって結ばれております。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

「部隊史」

戦車第17聯隊の想い出：著者不明
昭和40年11月23日発行 昭和49年6月9日改訂

戦車第17聯隊記：著者不明
昭和51年8月14日

戦車第17聯隊第4中隊記：著者 ****
平成4年10月

慰霊碑はありません。靖国神社の遊就館に納めた戦車を慰霊碑と考えています。
遺骨収集はありません。

9. 戦友会の意味や役割

軍隊時代は自己の青春時代であり、一生の内一番精神が高揚し、且つ旺盛に燃焼した時代でした。そんな時代然も戦地にあつて明日の命も保障されない日々を送った仲間達は、戦後何十年の会社勤めの間の人々との交流に比べ、遥かに深いものがあります。其の期間の短さを考えるとどうしてこうなのだろうかと、自分でも不思議に思う程です。そんな仲のあり方以外、自分自身あの時にはこんな気分で任務を尽くしたとか、責任を全うしたとかを思い、自分自身の励ましとなっている会にもなっています。そして二十代で亡くなられた戦友を思い彼らの分迄生を全うし、彼等の慰霊に励まなくてはと考えさせられる会でもあります。

10. 戦後日本社会についての考え

日本の現況のうち、靖国問題とか、教科書問題とか、隣国の侮りとか、物豊かにして、心貧しき現世等、靖国の英霊に対し本当に恥ずかしい思いが致します。然し戦友会では、此の様な発言は少なく、唯私たちは「侵略だと思って戦争した訳ではない」位の発言に留まっています。会員の中には自衛隊に行った方もおり、心の中では、次世代の人々の自虐史観からの脱却を願っている人が多いのではないのでしょうか。又戦前の美点の内失ったものを取り戻したいと考えている人も多いのではないかと、私は思っています。一番の願いは天皇陛下の靖国神社へのご親拝の日が一日も早く実現される事です。

備考

整理番号	8	戦友会正式名称	
------	---	---------	--

1. 名称とその由来

2. どういうつながりをもっているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

整理番号

9

戦友会正式名称

操十大隊戦友会

1. 名称とその由来

1. 名称 私達の独立歩兵隊第410大隊は「操」との呼称で独立歩兵が結成されました
よって独○第62旅団秘匿名として「操6468」が通例となりました・
2. 通称 「操」独立歩兵410大隊なので「操十大隊」です
3. 内部ですが通称「操10大隊が普通でした。

2. どういうつながりをもとにしているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

中隊の中でいろいろの形式で集っていましたので、私が大隊副官佐野さんに提唱して「操十大隊」と戦地の言葉で提唱しました

1. 私として自分の小隊は調べて復員していました。
2. 上京してルートをさがして名簿をさがしました。
3. 私は役場勤務ですので職員組合と連絡をとって名簿を入手しました
4. 地区毎に有力者を探して作成しました(自治労の組織を活用)
5. 一方 遠路でしたが東京へ参り勉強しました(名簿作成)
6. 軍隊の有力者に大いに助けて頂きました
7. 上京して公式で保管している方よりも調査しました。
8. 戦友への連絡は自費で印刷し自費で発送しました(あとで一部の方より応援があり助かりました

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

6. 戦友会運営の苦労

別段ありませんでした

7. 戦友会の目的

文字どおり慰霊で初まり親睦と体験の語り合いで目的で集っていました

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

1. 戦友会誌は平成7年に殆ど配布出来ました。
2. 書名「操十大隊「福建長樂の思い出」340頁を出版しました 殆ど全員です
3. 戦友はそれぞれ離れて暮しているので地域毎に進めています
4. 戦后2回数名の団体で元地に行き歓迎をうけました

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

復員したら大歓迎して頂き重要視してくれました

備考

整理番号	10	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

2. どういうつながりをもっているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

6. 戦友会運営の苦勞

7. 戦友会の目的

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

備考

死亡 (H5)

整理番号	11	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

--

2. どういうつながりをもっているか

--

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

--

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

--

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

--

6. 戦友会運営の苦勞

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

7. 戦友会の目的

02/11/2017 09:00:00
 2017-11-02 11:00:00 (星期日) 11:00:00 (星期日)

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

[illegible]

9. 戦友会の意味や役割

[illegible]

10. 戦後日本社会についての考え

[illegible]

備考

死亡 (H1. 11. 17)

整理番号	12	戦友会正式名称	飛燕会
------	----	---------	-----

1. 名称とその由来

元飛行第19戦隊は陸軍の三式戦闘機即ち飛燕（〇61）でしたから（元飛行第19戦隊飛燕会）と呼んでいます。（約700名 地上勤ム者。整備兵。計理関係。飛行隊員。軍〇関係。その他。）うち戦死者408程（約）（比島での戦死者は約350名）

2. どういうつながりをもとにしているか

（作戦地）比島、台湾、沖縄 （時期）昭和18年12月明野陸軍飛行学校で編成→終戦迄

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

戦後復員致しましたが、台湾、花蓮北飛行場で終戦をむかえ名簿その他の資料は一切持ち帰ることが出来ませんでしたので戦友会を開くことが困難でした復員局に御依頼して私と戦友の方とで何とか復員者の名前を知ることが大半判明したのが昭和39年頃であったと存じますが その後、全国に問い合わせをして、やっと連絡がつき、41年11月3日第1回の戦友会を開くことが出来ました。最初に言い出した方は小生を含め在京の戦友数人だったと記憶していますが定かではありません。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

最初の出席者は約60名位であったと存じますが40年も前の事ではっきり致しません 次第に減員して4年前の11月3日開散会を致しました時は約50人集りました。

会報はありません。

飛行第19戦隊は約700名の部隊で戦死者終戦時408名を慰霊する為に集った会が始まりです。

会員数はその都度異っていて少い時は25名～20名位 多い時で60名位、御遺族を含めていますので、戦友の実数は約7割程度と御考え下さい

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

戦時中の役職は総て関係なくして会を催しています

会費はその都度私が決めて実費を徴集しています

名簿作り、記念品を作った時にはその実費を戴くこととして御寄付の場合はその全部を会計に貯金して置き、開散時（4年前）200万余あり50万を沖縄の（特攻の碑に私達の戦友29名が沖縄に突込んでいます）ので昭和55年8月15日に摩文仁の丘に特攻之碑を建立しました。その会と寄付50万円を靖国神社に100万円を京都霊山観音に寄贈に会計の全部を0と致しております。

代表 会長**、 会計、（****）（元**郵便局勤ム）

6. 戦友会運営の苦労

戦友会は必ず慰霊祭をしていましたの順中の2回約80回開催致しました。現在は（3年前から）4月の第1日曜日12時に京都霊山観音に集合することとしておりますが約10数人（御遺族を含め）
年令が80才を過ぎており体調も悪く、出席可能な方は難しくなっており、飛燕会を4年前に閉じた次第です

7. 戦友会の目的

御説の通りですが最初は久し振りに再開する訳ですから意義のある会となりましたが馴れてきますと集合する方々も種々の理由で減少していく事は止むを得ぬものと存じます

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

昭和41年11月3日第1回の慰霊祭を靖国神社で行いました。その後年1回靖国神社で行っていましたが、昭和49年3月24日御地、京都東山の高台寺の隣の霊山観音に慰霊碑を建立致しましたので年2回慰霊祭を行っています。その集合した方々で戦友会と致しております。

- ・以前にも貴方へ御報告致しました。

昭和41年3月24日 京都霊山観音へ
建立飛行第19戦隊慰霊碑
昭和55年8月15日 沖縄摩文仁の丘
建立 飛行第19戦隊特攻の碑

- ・遺骨収集は致しておりません
- ・沖縄摩文仁の丘の慰霊には毎年10月合同慰霊祭を行っている

翼友会 代表 **
南航会 代表 **
飛燕会 代表 **

9. 戦友会の意味や役割

私達の飛燕会は比島、台湾、沖縄で戦死した戦友特攻隊29名を含め408程ですので その方々を慰霊するのが目的でしたから、総て慰霊が戦友会の目的でした。そこに大きな意義があると存じ信じて行って参りました。
戦後、あの戦いが私はアジア諸国の独立を果した結果は良しと考へます。而し〇ら、戦争の悲惨さは皆様と同じ考へです。決して戦はしないと考へ靖国に参拝しています。

10. 戦後日本社会についての考え

私は昭和19年1月松山、西部九九部隊広報隊第2中隊に幹部候補生として入隊1ヶ月後 立川福生の学校に転出
3月、比島、第四航空軍付（マニラ）を命ぜられ立川→列車で九州・小倉の近く（南方方面派遣部隊）に配属、
約4日？ 朝鮮（會寧）で編成された虎兵团（山下將軍の部隊）に依頼 船団にて比島に向った
而し米軍がリンガエンに上陸した当時になり、比島の近くで引き帰し台湾高雄に上陸。第八飛行〇団会下の部隊（飛行第19戦隊）に入ることとなり終戦を花蓮北飛行場で迎えた。台湾各飛行場を特攻隊員と同時に移動
生命を考へていなかったが、8月20日以向、生きて帰らねばと思ったことを思い出しています。
帰国後大学に復学、歯科医師をして現在頑張っています（81才）

備考

以前にも調査に協力

整理番号

13

戦友会正式名称

福々会

1. 名称とその由来

ニューブリテン島ラバウルは日本軍のきよこな防さいで敵軍を一步も上陸する事が出来ない守りのために幸いにして久し振りの郷土の土をふむ事が出来たので福々会と名めいせられたのです

2. どういうつながりをもとにしているか

昭和17年9月ラバウル戦士として入隊し第229聯隊にの配下
第3大隊代3機関銃中隊に入りラバウル各地の戦いに参加

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

最初に戦友会が発足したのが昭和25年5月頃
ラバウル戦士当時の中隊長が岐阜出身でしたので
福々会と名じて稲葉神社に無き戦友のみたまを奉げて語り合い友々と去りし日のげき戦の出来事等を語り○○
○

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

戦時中の役職階級等はなきにて唯友の集いとして平等の姿で語り合っています

6. 戦友会運営の苦労

7. 戦友会の目的

昭和20年終戦後2〜3会の戦友会が行われましたが友に戦ったこと食糧難と戦った事等を語り合いましたが何んと云っても高齢者の集いに成ってしまい戦友会が遠のいてしまってます現情です

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

日清日露大東亜戦に参加されて名誉の戦死をされた戦士達の慰れの社 照こん社の祭り事毎年行われている
(旧川西村)全村の慰族を呼び〇行されている
私達無事に帰った友と共に参拝し当日の思いを〇〇しを胸にひめて居ります

9. 戦友会の意味や役割

国土の為陛下のために人名をさへげて戦い生死に〇〇〇を期してかへつて来た友共と2度と戦争はいやだと語り合うのも思い出の一つに心の〇〇にのみ終った

10. 戦後日本社会についての考え

今現に国家社会そして各々家庭の実情は戦事中の頃の歩みを百八十度の転かんに成ってしまったと思う
若き者は戦争を知らない我がままな生活自分さえ良ければ他はどうだろうと気まゝな態度で過しているだから殺人ぎやくだいせつとう
国を思う社会を思う心はうすらいでいるのではなからうか？
我が子孫共に昔の事を話せば身実に聞いてくれない戦争に参加した事食糧難と戦ったなどまじめに聞く意志が無くなった事にこれから先社会はどうなるだろうと思う者です

備考

整理番号	14	戦友会正式名称	独立輜重兵第2連隊戦友会
------	----	---------	--------------

1. 名称とその由来

独立輜重兵第2聯隊戦友会
略して「2TS会」ともいう。

2. どういうつながりをもっているか

所属部隊による旧戦友の親睦会です。

中支、ニューブリテン島（ラバウルのある島）、ビルマと転戦し、ビルマでは昭19年3月、インパール作戦に出
○しましたが、軍から食糧補給がとだえ、敗走する結果となりました。昭20年に入り、ビルマの北方及び西方
から英印軍が北東雲南方面からはアメリカ軍装備による中国軍が進攻して来て、タイ国境付近まで退却したと
ころで、終戦になりました。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

戦友会は、中隊ごとに（四ヶ中隊編成であった。）自然発生的に集会した親睦会の如きもので、聯隊としては
昭和40年頃、慰霊祭として東京靖国神社で行われ、以後何回か集合したが、最近では四国（編成なので）で行
われている。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

部隊に籍の在った人員は2000人強であったが、インパール作戦で多数の戦友を失い、昭和40年頃作られた戦友
会名簿では700名強であった。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

我々の戦友会では、戦時中の役職や階級は重視されていない。

役員などの言葉は用いず、会の開催の企画や運営は、何人かの世話人により行われている。

6. 戦友会運営の苦労

交通機関の込む時期を避ける。
会場（ホテル等）の込む時期を避ける
農繁期をさける。

7. 戦友会の目的

{質問文中の「慰霊・親睦・体験の語り合い」に○をして}
その通りです。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

1. 私の著した（インパール作戦）ものを寄贈します。
2. ビルマ国ヤンゴンの郊外の日本人墓地の一面に、
独立輜重兵第二聯隊慰霊碑が、3～4年前に建立された。

9. 戦友会の意味や役割

我々の戦友会は親睦会であって、特別な意味や役割はありません。

10. 戦後日本社会についての考え

備考

整理番号	15	戦友会正式名称	鳳五友会
------	----	---------	------

1. 名称とその由来

名称 鳳五友会

部隊は南支派遣軍鳳第8964部隊第5中隊です

2. どういうつながりをもとにしているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

当戦友会は5中隊の**氏より連絡があり

つぎ々と戦友の消息がわかりました。

第一回戦友会は昭和50年3月9日開催しました。

淡路島うじしおホテルで参加者は34名

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

世話人代表 ***氏		
2回	昭和52年4月23日	52名
3回	# 53年4月2日	45名
4回	# 54年4月15日	45名
5回	# 54年4月17日	50名
6回	# 55年9月10日	42名
7回	# 56年5月16日	59名
8回	# 57年5月17日	24名
9回	# 58年5月10日	30名
10回	# 58年5月10日	37名
11回	# 59年4月1日	33名
12回	# 60年4月16日	36名
13回	# 61年4月22日	23名
14回	# 63年4月16日	32名
15回	平成1年3月28日	29名
16回	# 2年3月28日	23名
17回	# 4年4月21日	22名
18回	# 5年3月18日	30名
19回	# 6年3月17日	27名
20回	# 7年	42名
21回	# 9年10月	43名

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

会場では中隊長が中心で

会費は皆平等でした。

6. 戦友会運営の苦勞

1年に1回の集まりで皆この日を心待ちしている人ばかりで楽しい集いなので、苦勞などと思ったことは有りませんでした

平成16年最後の慰霊祭でこれに伴って戦友会も無くなり淋しい日々です。

7. 戦友会の目的

戦友会の目的は何年たっても何ら変りは有りません。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

歩兵第108連隊 通称菊水部隊 鳳第8964部隊

慰霊碑建立 昭和53年10月

大阪市住之江区加賀屋町

大阪護国神社

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

備考

整理番号	16	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

名称、昭和13年中支安慶に於て設立された。

2. どういうつながりをもとにしているか

終戦に茨城〇銚田飛行場に於て部隊解散、残留部隊は比島、ミンダナオ島に於て部隊は地上陸戦部隊として戦う。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

昭和53年春静岡県熱海にて以下連続して毎年一回京都、東京、岐阜、福岡等に於て平成16年迄継続解散す。但し内地新編成者のみ他に黒川会（当時の中隊長を中心とする）会が未だに続みて居る由です。提唱者は少飛5期生の****君が熱心に運動された。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

〇会時は70名以上の参加者があり昭和62年頃迄50名以上でしたが年次と共に加齢の為の理由と数少なくなりました。平成14年度は10～12名程となりました。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

少人数の為其の差異は殆ど意識して設けませんでした。

6. 戦友会運営の苦労

戦時中の話題を少しでも〇くにと記事を見付たいと苦心をしました。
逐年〇く事項が乏しくなって何よりの重荷になって来ました。

7. 戦友会の目的

其の通りです。以上

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

1. 雲翔北に南へ（昭和62年9月発行）Page 8 写真

2. 比島、ネグロス島飛行第45戦隊戦死者慰霊碑

***氏（富山県出身、現存）

戦隊誌P219参照

※別郵便小包にてお送り致します。

宜しくご一覧願います。

9. 戦友会の意味や役割

私達厳しい当時の時代を生き抜いて来たものたちにとって懐古以外の何物でもありません。

10. 戦後日本社会についての考え

良き時代となってしまったのか、人間がいい加減に変わってしまったのか何とも決め兼ねます。”昔を今に為すよしもがな”と繰り返す愚かも知れません。

備考

整理番号

17

戦友会正式名称

1. 名称とその由来

2. どういうつながりをもっているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

整理番号	18	戦友会正式名称	鶏寧会(ケイネイカイ)
------	----	---------	-------------

1. 名称とその由来

私共の中隊は満州国鶏寧件鶏寧に駐屯していたので駐屯地の地名をとり「鶏寧会」と称しました。

2. どういうつながりをもっているか

殆んどのもの（私以外）は入ソして捕虜となり、長期間よくりうされていたので帰国が遅く終戦から20年位した昭和40年に有志相集い戦友会を立ち上げた
メンバーは同じ中隊の同年兵です

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

2. でのべたように同年兵の集いとして発足しました。
大会と称するものではありません

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

会員数は40名程度の小規模です。
出席者は最盛期は30名程度です

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

少人数の会合ですから世話人はありますが同年兵であり階級の差はありません

6. 戦友会運営の苦勞

出席者の数の確保

7. 戦友会の目的

目的は親睦・体験の語り合いにつきます（生活や元気でくらしているとの〇〇も大事な目的となる）

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

ありません

9. 戦友会の意味や役割

初年兵として同じ中隊に属し共に苦勞した軍隊生活の思い出や入ソして捕りょ生活のきびしい日常の共〇の思い出が沢山得られる

特に社会的役割はありません

10. 戦後日本社会についての考え

私は世話人として設立から運営に関係していましたが私は同年兵の中でただ1人入ソしなかった。満州から一般邦人の引揚者と共に帰国したものです。

戦後の混乱期には 満州は空襲もなし食料の不足もなし楽土の生活でしたので

日本に帰国すると将来どうなるのかと心配でした。〇戻り家族と共に苦樂を味わうことになった 日本の〇〇への一国民として暮らしてきました

備考

1. 名称とその由来

(イ) 名称、「大阪鳳108聯隊戦友会」または「菊水、鳳会」地名に因んで付けられたと。由来、昭和13年6月、大阪4師団に動員下令、によって歩兵8聯隊を基幹とする特校以下の招集兵は大阪、兵庫の出身者ばかりで編成された新設の歩兵第108聯隊、の在住者のみで結成された故に、この名称が付けられたと伺っています。

(ロ) 名称、「百八観音護持会」由来、それまで大阪の聯隊区だった（鳳兵団）の補充隊は、昭和17年度より名古屋の第6聯隊区に変更されました。以後、出身者の多くは愛知県や静岡県等近県の方々によって補充されました。大阪の慰霊祭への参拝は地理的にも困難な方も多く、もっと英霊に報いやすい所でと戦友諸氏の要望に応え、愛知県は三ヶ根山頂に、慰霊百八観音像が建立され、昭和56年2月22日に開眼供養が行われました。式後大阪同様に親睦会（戦友会）が開かれました。

(ハ) 名称、「京鳳聯砲会」由来、補充区は、名古屋聯隊区に変わった昭和17年の1月10日に現役兵として一千余名が入隊しました。そのうちの300余名がどうしたわけか京都市内の在籍者ばかり、あとの700余名は、愛知県の郡部ばかりの出身者で占められ、造成の新兵団ができ、即現地の鳳兵団に入隊しました。いまだ乙兵団だったこの部隊は、私達現役兵が入隊したとあって甲兵団に衣替え戦闘部隊となり、兵機も若干新兵器に変わりました。入隊時9中隊だったのですが現地にいて編成替えがあり、何の因果か、私は「聯隊砲中隊」に入隊することになりました。中隊に60余名入ったのですが、京都からは20名ほどだと思います。そんな関係から京都の在住者ばかりの会として、上記のような名称をつけました。

2. どういうつながりをもとにしているか

部隊名 歩兵第108聯隊（通称、菊水部隊、鳳八九六四部隊）

作戦概要 昭和13年7月満州派遣、急遽反転、

同年8月南支バイアス湾上陸作戦、続いて広東進攻作戦

四邑作戦 同 15年9月

湘桂作戦 同 19年5月

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

「京鳳聯砲会」

この会のできたのは、以外とはやく、市内の在住者ばかりとあってか、帰還したその日から交友もあり、そのうちに誰が言うともなくごく自然に「おい、一度郷土戦死者の追悼会」をやろうじゃないか、と話しが煮え、昭和26年8月に大徳寺の塔頭寺で慰霊祭を行いました。式後、鴨川の鮎鶴の床で宴会をやりました。そんな事があって、次ぎの年から大阪、愛知県の方々を呼ぶことになり、会を重ねる都度ますます盛んになってきました。そうした事がきっかけとなり、大阪では「108聯砲会」、愛知県では「鳳聯砲会」（中隊の会）が結成され、こうした方々の呼び掛けで次々と上記のような部隊の戦友会、並びに慰霊碑及び観音像護持会ができたといっています。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

「京鳳聯砲会」の集まりは、最初は25年の8月、（出席者）15名、以後10年間ほどは横這い状態でしたが、序々に欠けるようになり現在は4人です

大阪の「108聯砲会」は最初の頃は30名程ありましたが現在は休会

名古屋の「鳳聯砲会」は当初は40名ほどありましたが現在は休会

部隊の戦友会、つまり大阪の慰霊碑護持会、愛知県の108観音像護持会の経過等については、私は詳しくはわかりません。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

階級や役職については、取り除かれたはずですが、やはりこうした方々が取り仕切られますとなんとなくスムーズにはこび楽しい会合になります。

会費にも隔たりはありませんが、事業で成功された方達やお金持ちの方は寄付金として出費もあります。席順は上級者はやはり上方でしたが、現在はありません。

6. 戦友会運営の苦勞

苦勞は大挙な無礼講に閉口しています。
会費の設定や会場いらびにも苦勞することがあります。

7. 戦友会の目的

戦友会の目的は、ご案内の通り「慰霊、親睦、体験談」につきるとおもいます。
かけがえのない戦友愛は、おかげさですが生活の潤いでした。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

昭和51年5月に歩兵百八聯隊史が発行されています。（大阪戦友会発刊）
昭和56年5月に百八観音建立記念誌が発行されています（愛知県戦友会発行）
大阪の護国神社に「つわもの之霊ここに鎮まる」と「軍馬、軍犬、軍鳩よ安らかに眠れ」の碑が建立されています。
愛知県三ヶ根山頂に「慰霊百八観音像」が建立されています。

「大阪鳳108聯隊戦友会」
昭和51年12月に聯隊史が発刊されました。
昭和53年10月に大阪護国神社に慰霊碑が建立除幕式が行われました。

9. 戦友会の意味や役割

戦友会と言えば、一般市民からみれば敗残兵の生き残り、掃き溜めのような存在では？
国難を救うため、帝国軍人として生死をかけて戦ってきた筈なのに、何故か侵略者呼ばりに心苦しくおもいます。

10. 戦後日本社会についての考え

国破れて山河あり、と漢詩の心を信じて帰還して、あまりにも酷い荒廃ぶりに驚嘆、漢詩の意などふっとんでしまいました。しかし、生活の糧にと、その日からがむしゃらに働いてきました。国民の皆さんも無我夢中で祖国復興に邁進され、今日世界でも例をみない産業国家が誕生しました。国民の皆さんの努力の賜物だとも思います。私はいま84才の高齢ですが、この恩恵によくい、平穩に暮らしています。有難く感謝しています。ただ、最近子供の虐待や強盗、殺人など凶悪な事件の多発に、心暗くしています。何故なのか、現代の教育に問題があるのだろうか、と愚痴っぽくなったりしています。

備考

整理番号	20	戦友会正式名称	歩兵三二一御旗会
------	----	---------	----------

1. 名称とその由来

1. みはた会（元歩兵第321連隊）
2. 日本で只一〇の軍旗を保存しH. 5年4月3日に靖国神社に奉納し現在遊就館に保存されてゐる
3. 会員130名位

2. どういうつながりをもっているか

1. 部隊 鹿児島県加茂郡（現東広島市）
第321連隊

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

昭和28年****元連隊長が軍旗を保管していることを産経（週間）に記載された
 S30年に長崎に****宅に元連隊旗手****が参加して長崎の**氏知人と共に戦後初の軍旗祭を催した
 S34年8月17日NHK私の秘密に軍旗と共に**、**出演
 S38年4月靖国の要請により軍旗を貸与しこれが新聞に記載されて数集まり戦友会を初めた（故****名簿
 作成元人事係）
 S38年より毎年4月初旬靖国神社に昇殿参拝した後〇〇会
 （市ヶ谷会館か九段会館、又は私学会館グリーンホテル飯田橋〇）

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

S38年4月 20名位
 S39年4月～H17.4月
 出席 70～100～130～55
 会員数100～300～150～120
 最盛期 S60年頃
 現在 H.14.4.14 55名出席 120名会員数
 会報 なし H.17.4.14 写真集作成 3500円 50頁

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

役職階級にはこだわらないが、やはり将校は将校グループへ 後は地区毎に希望席につく様にしてゐる
 元連隊長は自然流で形式にこだわらずに当日出席者を見て挨拶と乾杯を
 次年度の日程の会場を予約決定し特に会合の式台を作らない
 司会者は40年間変らぬ元ハトばすの****バスガイドが続いてゐる
 御年67才（元連隊長の先妻の娘と同年で親しみやすい方）

6. 戦友会運営の苦労

近年は年の精で前日や翌日に間違へて来たり、忘れて欠席したりの人がだんだん増して来た

7. 戦友会の目的

目的

慰霊 広島原爆に3000名中約50名が被爆死昇殿参拝に慰霊す

親睦 親睦が主である

お互に年をとり健康○のよい反省材料となつてゐる

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

刊行された本

元連隊長 ****氏 毎日新聞発行

へんこつ隊長物語 続へんこつ隊長物語 軍旗は焼かず (三部)

原爆救援 広島編 321聯隊のこと 土橋慶治

※遺骨関係等なし

9. 戦友会の意味や役割

青春時代暗雲の中苦勞した思いでを今の幸の中に話し合つて慰めている

あのときはあゝする以外になかったのだが今考へて見ると戦争してゐる国も同じだったのであろう

正しい平和を全人類が求めてゐる

今の日本は幸せだが みんなの幸せを願つてゐる

10. 戦後日本社会についての考え

教育の大切さを痛感する

平和は大切だが、北せんのような国がある限り米国の○護を受けざるを得ないだろう

日本の政治家も頭を痛めて外交していることに感しゃしてゐる

あの広島救援作業に従事して米国がにくい心は今も忘れられないが 米国の○で小国たりとも理のわからぬ国をおさへるには米国も必要と思ふ

世の中はなかなかむずかしい

通信がもっと発達して北せんが自由に日本や世界のテレビを見る事の出来る世の中にした

備考

整理番号	21	戦友会正式名称	八八会
------	----	---------	-----

1. 名称とその由来

八八会とは 原隊名第8航空教育隊 所在地八日市
それぞれの頭文字を取り八八会とする

2. どういうつながりをもっているか

終戦時 原隊の中隊に残った者7. 8名で作る

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

原隊のあった滋賀県で迎えた者が話し合いの場所をつり、其の後増えて毎年1回、8月に集い戦友会を作った

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

1. 同封の名簿を参照して下さい
2. 出席者の最高は50名（昭和3年）
3. 会報はありません

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

- 1 戦時中の役職等のちがいはありません
- 2 会費はその都度会食費と宿泊料のみ

6. 戦友会運営の苦労

主して兵隊同志で階級意識はありません。運営しやすい

7. 戦友会の目的

親睦が主ですので変化はありません

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

これと云った活動はしておりません

9. 戦友会の意味や役割

別にこれと云った役割はありません

10. 戦後日本社会についての考え

色々と考へさせますが ○○ 自身の体験の面からこれ以上のことは望めません

備考

名簿1部（3頁）添付

1. 名称とその由来

サクサク会（第四航空情報聯隊戦友会）

S19年4月から補給の絶えた東部ニューギニアに於て、土人がサゴ椰子から採る澱粉「サクサク」。これによって我々も生きて帰れたのです。

2. どういうつながりをもとにしているか

第4航空情報聯隊の組織を基にして結成した。

作戦地域はソロモン、東部ニューギニア、19年以降は西部ニューギニアへも広がった。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

・戦後の生活も少し落着いたS40年頃から各中隊毎に東京地区で7、8人集まって各人の家を廻り持ちで集っていた。

・S45年5/10靖国神社で東部ニューギニア戦友会（18軍）が開催されたのを機に、第4航空情報聯隊として、全国的に戦友へ連絡をとり、この日に4航情戦友会としてサクサク会の名称も決まり、初代会長には1中隊の**中尉（西部ニューギニアより帰還）が決まった。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

会報33号を参照して下さい。

4航情の特色として戦友は北海道から九州まで散在しております。

H. 17年度慰霊祭、宿泊18名

5月11日 日帰り7名

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

復員後は各中退の将校、本部**主経少尉、**曹長等は残務整理を行った関係で、4航情については一番情報

が豊富であった。

従って自然これ等の人に役員になってもらった。

会費、席順などの差別は一際無かった。

6. 戦友会運営の苦労

4航情全体のことについては、部隊長代理だった**中尉（H3死去）や、本部の**少尉（S51年死去）、**曹長（H7年死去）なら分るが、2中隊の一兵卒であった私には2中隊の事は分るが他は皆目判りません。これが一番困ります。

7. 戦友会の目的

何しろ生き残って還ってきた戦友の5倍以上の戦友が斯の地で亡くなっており、年々生き残ってかえってきた事がうしろめたいような感じでした。

斯の地で亡くなった〇等戦友の霊の拠り所としての碑を作って上げたり、何かこれをしないとこっちの気が休まらないような気持、これが皆同じく抱いたのでしょう。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

S46年の第2回総会で慰霊碑建立が決議され、費用の積立（任意）を始めました。

- ・第4航空情報聯隊出征の跡（市では慰霊碑ではなく記念碑としたい意向でした。）
- ・静岡県磐田市かぶと塚公園（元中部129部隊跡、4航情は17年12月ここで編成された。）
- ・S58年12/4除幕式

9. 戦友会の意味や役割

お互いに命を助けられたり、助けたり、この損得ぬきの感情こそが、戦友というものでしょう。
この鮮烈な思い出こそが、大きな継がりとなり、人間関係の宝であります。

10. 戦後日本社会についての考え

備考

整理番号

23

戦友会正式名称

62歩兵砲戦友会

1. 名称とその由来

2. どういうつながりをもっているか

東部62部隊歩兵砲中隊に1ヶ月以上在籍した方々
師団は61師団で○3062部隊でした
作戦地域は中支の○（上に《+下に采?）県と合肥と上海の隣の?東でした

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

歩兵砲中隊長と私が相談して作りました
昭和40年5月頃第一回戦友会を開催しました
始めては品川区西小山温泉で第一回開催し25名が12:00~19:00頃迄やりました 会費が8万位不足したのは全部私が出しました
其の後5, 6年してから市ヶ谷会館（集合は靖国神社でした 参拝后市ヶ谷会館で会合しました

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

第1回は25名だんふへて45名が最高でした
最盛期は昭和50年~55年位が45名から40名位集りました
平成16年7月に第35回を以って終了しました
その時は15名集りました
私も病氣勝ちであと引受けてくれる方がいないので止むをえず閉会しました
年次資料はありません

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

役員の決め方は出席の方方で決めました
大会席順はありませんでした

6. 戦友会運営の苦勞

私が一番苦勞したと思っております。会場、開催日役員等はほとんど私がやりました
中隊の最も長い勤務でしたので私を知らない人は居なかったため

7. 戦友会の目的

ほとんどのが負け戦争の逃げた話が多い（多大な苦勞をしました）
現況を語る人は少なかった

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

すべてありません

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

大体かん国中国が総理大臣が靖国神社へ参拝に文句をつけるのが不明で政治家や（一部）マスコミが一番悪い
と思ひます

中国のことわざで

①詐欺を能事となす ②賄賂を以って罪惡とせず

③黄金万能とする ④不潔と不潔せず

皆さん中国をよくお存じですか？

かん国などは併合する迄こじきの国だと本に書いてあります

大体後藤田さんや中曽根首相が少しおかしいと思ひます

小泉さんがんばれと大声でさげびたい者です

備考

整理番号	24	戦友会正式名称	近畿狼三会
------	----	---------	-------

1. 名称とその由来

近畿狼三会は3年位前に解散

2. どういうつながりをもとにしているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

6. 戦友会運営の苦労

全ページ

希望するページ

25

希望するページ

希望するページ

希望するページ

希望するページ

7. 戦友会の目的

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

希望するページ

希望するページ

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

希望するページ

備考

整理番号	25	戦友会正式名称	ビルマ会
------	----	---------	------

1. 名称とその由来

南方方面派遣軍（森8132部隊）
戦友会名称（ビルマ会）

2. どういうつながりをもっているか

部隊独立中隊（編成）移動地域中支広東より比島ミンダナオ島ダバオ注留。昭和19年9月ビルマに転戦移動昭和20年8月15日終戦
戦后処理の為抑留され使役として働く昭和22年6月復員する。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

無事帰還した兵卒は集って戦友会を発足させた。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

戦争中は体に無理が有り其れに依り復員后病気になる亡くなって行った方も居りました。
最初の頃より参加者が減り続けて参りました。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

上官の将校は仲間に入れず運営した。当時兵卒だけが苦勞して来たので精神的にも気がね無く話し合うことが出来ました。当番は持廻りで富山、福井、石川、長野等です。

戦友会の中では階級等の差別は無く和気会会の気持でありました。
大会の席順は順不同であり費用は当番の方が決めて下さいました。

6. 戦友会運営の苦勞

7. 戦友会の目的

慰霊、親睦、体験は勿論ですが私としては二度と戦争はしたくないと思います。今の平和国家が最高です 民主主義に依り自由に振舞う事が何よりです。只々云える事は奢る平家は久しからずやと云う
昔の事乍ら自己満足ではいけません今の若い人達は将来を見つめて頑張してほしいと思います。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

9. 戦友会の意味や役割

只今の日本は自由主義民主主義等に依り平和国家として繁栄して参りました。過去の歴史を見ると戦国時から始まって武家政治に依り永い間庶民が苦しんで来ました。明治になり軍国主義になり戦争に明け暮れて参りました。如何に政治、外交が大事か国民は心に留めてゆかねば成りません。

10. 戦後日本社会についての考え

現在の若い人達は社会の為に協力してゆく必要が有ると思います。個人主義は通用しません。未来の日本国家の一員として己れを律して盡くす可きだと思います。自己満足だけでは駄目です。教育も人間形成として成立ってゆく様な計いが必要です。

備考

整理番号	26	戦友会正式名称	幸三七〇九部隊戦友会
------	----	---------	------------

1. 名称とその由来

幸3709部隊戦友会（野戦部隊名）
元の部隊の呼称を用いている。

2. どういうつながりをもっているか

中支那11軍の骨幹部隊として戦って来た。
上海敵前上陸→終戦まで

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

部隊の記録を作り親睦を深めるため
氏（浜松市**）が主体となって始めた。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

最初 昭和30年 120人
最盛期 " 40年 130人
現在 平成17年 18名

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

役職や階級は生きている。
当戦友会は静岡、岐阜、廣島の三地区に別れているので交互に各地区毎に実施している。

6. 戦友会運営の苦労

時期 9月10日の近傍に実施している。
人数の掌握するので大変です。

7. 戦友会の目的

慰霊・親睦が目的で変わっていない。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

1. 工兵三連隊鎮魂の碑 掛川市（静岡県）大霊院に設立した。
2. 平成元年3月除幕式を行なった。

9. 戦友会の意味や役割

親友と会える楽しみを思い年1回の戦友会を待っていました。

10. 戦後日本社会についての考え

1. 責任観念が稀薄となった。
2. 靖国神社の首相参拝は国内問題であり内政干渉を排除すべきである。

備考

整理番号	27	戦友会正式名称	司偵碑の会
------	----	---------	-------

1. 名称とその由来

司偵碑の会

戦友会そのものではありません

昭和60年下志津飛行学校の八街飛行所跡の一角に「司令部偵察機の碑」を建立した際その事務局長を仰せつかり、以来隔年に親睦の〇〇会の幹事となりお世話申し上げてありました

2. どういうつながりをもっているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

司偵碑の会はS58年陸士45****（自衛隊航空幕僚長〇〇平成13. 2. 14死去）の呼び掛けにより「司令部偵察飛行隊の碑」が建立されS60. 5. 19に除幕式が挙行された。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

1. S61. 10. 18 62名
2. " 62. 9. 19 32名
3. " 63. 10. 1 42名
4. H2. 5. 19 43名
5. " 3. 11. 24 44名
6. " 5. 3. 27 57名
7. " 7. 4. 10 45名
8. " 9. 4. 13 56名
9. " 11. 4. 4 54名
- 10 " 13. 4. 8 50名

**会長の死去（H13. 2. 14）により自然消滅となる

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

司偵碑の会誕生の経緯から**会長のもと階級のちがいを重んじたことは終身幹事を仰せつかった私としては当然の配慮でした。但し飛行隊の特色として前席に操縦者 後部席に偵察者と二人乗りで生死を共にした関係で同じ戦隊であれば勿論それも重視しますが、宴席では操縦者、偵察者、整備者など特に同期の者は重視致しました。しかしこれも回を重ねるにつれ上席に変更はありませんが、他は自由に席は決まりました。特に司偵碑の会は戦中八街飛行学校に勤務していた女子挺身隊員10名迄が毎回参加され会にうるおいを与えたことはこの種の会としては珍しいことだと思っております。

発足と同時に会長と終身幹事が決定し、旅行地、会費などすべて幹事が企画決定し時には地元八街の旅行会社に委託したこともあります。参加人員を予測し会費の決定には幹事の腕の見せ所でした。又女性の会費をどこまで下げられるかこれも幹事の配慮する事項でした。

6. 戦友会運営の苦労

会員が全国に亘り年々老令化する体力的な問題もあり又なるべくは建碑記念碑5/19前後に集うことを主とし他は天候安定する時期を考慮し

春6回秋4回幸いに雨に心配することはありませんでした。これだけは幸運であったと思っています。特に先〇碑前祭を行うことを主眼といたしましたのでバス利用一泊となりますと千葉県を主とすることは避けられませんでした

戦中余り遊覧の余裕はありませんでしたので戦後になって八街界隈をゆっくり見て歩けたのも楽しみの一つでした

7. 戦友会の目的

旧軍関係者にとっては「司偵碑」は慰霊そのものの碑ですが「八街飛行場跡」と小碑が建てられている通り、記念碑の意味合いも深いと思います。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

司偵碑の会として戦友会そのものではなく包括的、象徴的な会の性質上特に書くことはありません

9. 戦友会の意味や役割

同窓生、同級生以上に生死を共にする、骨をひろってくれる友は特別なもの

地上部隊の戦友は空中勤務者の戦友とは又違ったものだと思います

戦後は戦友会以外には往時を話し合う機会も場所もなく利害を離れて楽しく話し合える場所であったことは事実です

10. 戦後日本社会についての考え

日本も斗って敗れた結果早期の回復が可能になったのであり斗わずして敗れたればあと100年は〇興は無理ではなかったかと思う 色々と自虐的な言論を見るが当時の空〇をすった人間として当時を生きた人間の心情をもっともっと深く洞察して貰いたいものだ

そして男子18才から20才迄入管して軍隊経験なりボランティア活動に従事するなどして人間を鍛錬する機会を設けることの必要性を痛感する次第である。覚悟の出来ていない人間程頼りないものはないのである 19才で少尉20歳で中尉の吾が身の往時を想い教育の重要性基本法の改訂緊急の事と思うが如何に。以上。

備考

整理番号	28	戦友会正式名称	呂五五〇〇会
------	----	---------	--------

1. 名称とその由来

呂五五〇〇会

中支派遣軍の中で第十一軍司令部（特に温口地区に南支方面に進出し桂林柳川を主とした部隊といふか知れ部にて私たちは主として衛兵隊をしていましたので司令部名を名のってそれを呼び合っていました。

2. どういうつながりをもとにしているか

呂五五〇〇会といふのは中国で上海上陸戦以来南京漢口攻略し少しの間漢口に駐留しその後一号作戦開始と兵をつづけて広東より北上してきた南支軍と南寧附近で会ひ反転し桂林地区柳川地区に駐留しその間の数多くの会戦をつづけましたがその内容については余りくはしく記憶がありません

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

内地に帰り主として岐阜愛知出身の人が多かったので自然発生的に年に一度か二度の集会をもつようになり平成十三年迄つづけて来ましたが最初は余り記憶していませんが昭和二十四年に浜松か浜名湖で開かれたと思っています。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

最初の頃は60名から80名の出席でしたが最後の解散を決めたときは7名だったと思います
資料として余り残っていませんがその都度発行して来ましたがその一部を送ります

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

会長としては階級〇時の職とかに関係なく諸事が行はれる 適当に選任し会費その他はその都度会計で出来るだけ残さず もちろん席順とかもなしでした

6. 戦友会運営の苦労

最初は近くにいる人がそれぞれ会で知っている人年次により知り合った人と 人から人へと伝へ会員を増やし連絡をとり名簿をつくり苦労らしい苦労もなく終結 懇談会的ないい開場で会を開いて来ました

7. 戦友会の目的

目的とかは定めず慰霊と親睦を兼ねて
語り合ふのが目的で集り最初は一泊でしたが
最後の頃からは日帰でしたので近くの人が主となりました

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

会として発行したものはありませんし、遺骨とかは死亡した人がいませんので全然やっていませんが
旧地区南京、漢口、桂林、柳川には目的ももたずにで三回ぐらい征ったことがあります。
特に目的をもって行動したことはなし

9. 戦友会の意味や役割

目的とかそんなことがなく書き申上ることなし

10. 戦後日本社会についての考え

年令的に今では何を申上ても限界とて来ましたので書き申上ることなし
いつ迄もこんな運動をして下さることに対して深く感謝申上ます

備考

整理番号	29	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

2. どういうつながりをもとにしているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

整理番号	30	戦友会正式名称	吹雪会
------	----	---------	-----

1. 名称とその由来

吹雪会（フブキ会）

私共の原隊は満州第981部隊（歩兵第一聯隊）で旧満州国黒河省〇〇に在りました
第一師団歌の初めに吹雪に明けて又暮れると言う歌詞があり其の吹雪を会名にしました

2. どういうつながりをもとにしているか

私共は昭和15年徴集の現役兵でした。昭和16年2月上記の部隊に入隊いたしました
吹雪会は入隊し編入されたのが6中隊でした

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

復員后いち早く復員した中支に出動した戦友と私（北支に戦う）が今判って居る者だけでも連絡し集ろうと言う事で連絡し同年の千葉万葉〇〇友が会場〇を受けてくれましてS22年5月18日千葉に於て25名程集りました。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

別紙名簿の〇印は亡くなった戦友

S36年頃から発病して亡くなる者が出始めました

最盛期はS51年です

平成8年4月21日50周年総会を開き之を以って吹雪会解散とする この時参加者30名なるも同年の者は13名だった

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

同年兵ですから復員后 戦友会を創会しても各人幹事に一任 争ひは無し 会の時招いた当時の幹部や先輩には当時と同じ礼をつくした

6. 戦友会運営の苦労

幹事として指示した事は総べて従ってくれましたので苦労はありませんでした 兎に角集る事が最高の喜びでしたから

7. 戦友会の目的

うるさ型の戦友会ではありませんでしたから、いつも同じ様な雰囲気の会でした

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

ロタ島へ出動した仲間の何人かはロタ島の慰霊に行っている居りますが細部は私は判りません

9. 戦友会の意味や役割

私共の戦友会は只々逢うのを楽しみにした会でしたから世間に役立つ様な事はありません

10. 戦後日本社会についての考え

私は現役兵でしたから若者でした 従って戦地での死と言う事をしみじみ考へた事も無く只命令によって動いたと言う事でしょう

今の日本はアメリカナイズされて全く淋しい限りです

やはり教育は昔の様な（教育勅語）必要と痛感しています

備考

葉書1枚と名簿1枚を添付

整理番号	31	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

2. どういうつながりをもとにしているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

整理番号	32	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

2. どういうつながりをもとにしているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

6. 戦友会運営の苦労

会友の一人の苦悩

戦友会運営の苦労

40

（写真）

7. 戦友会の目的

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

9. 戦友会の意味や役割

10. 戦後日本社会についての考え

備考

整理番号	33	戦友会正式名称	鉄4-13会
------	----	---------	--------

1. 名称とその由来

全鉄連。独立第一鉄道大隊の戦友会が2回あったが、***（故人）が鉄葉会（元将校の集まり）の会員が少ないので入会を奨めた。それ故参加する。
再び会員数が少なくなるので、鉄道関係を全部統合して“全鉄連”となった。2回目の秋田大会を予定したが、事実上の解散となった。

2. どういうつながりをもとにしているか

私達は“鉄道隊”という共通の仕事だったから。
事実上、湖南湘桂作戦が共通の戦場で、
共通の上官も多く、他部隊とも混和が簡単だった。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

6. 戦友会運営の苦勞

老令化ともに世話役をやれなくなり『次の会は』となると、人数の減少もあり、自然消滅の様になった。
このアンケートも10年はおそく、名簿や資料は行方不明

7. 戦友会の目的

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

当時年少の“予科練”関係がやってゐるでせう

9. 戦友会の意味や役割

郷土部隊はよく団結してゐましたが、
私は全国部隊で、関係ない様です。

10. 戦後日本社会についての考え

備考

資料4枚（内名簿1枚）

整理番号	34	戦友会正式名称	ハイラル戦友会
------	----	---------	---------

1. 名称とその由来

海拉爾戦友会
昭和14年現役兵と（当時の満州國海拉爾國境守備隊として入隊后
部隊の駐屯地名を取ってハイラル戦友会とした。
姫山会戦友会
此れは再召集で姫路陸軍病院へ應召に成った時の戦友会です

2. どういうつながりをもとにしているか

現役兵として入隊した150名の中隊の入隊の終戦後の消息を元に戦友会を作った。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

昭和23年から24年にかけて生きて帰った人の話しを次から次と職いて私しが発起人と成り鳥取県と島根県の戦友を車で訪ねて一人一人と仲間を探し求めて24年始めて第一回を私の地元で開会した

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

ノハンモン事件や二回目の召集でビルマ戦線に出征して数多くの戦友は戦死し 第1回28名であったが次回は少し増えて最盛期には30名余りと成り会報も作成して配布したが 其の後は年々と減少して今は私を含めて4人となり5~6年前から解散と成っている

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

私の戦友会では一切戦時中の役職や階級にはこだわらず本当に生死を越えて生きて帰った者ばかりで話しに花が咲き夜の明方位迄も話し合ったなごやかさでした。
席順も自分の好きな所へ座って仲良く無礼こうでした。発起人としてか何時も私しが乾杯の音頭は取って居た。

6. 戦友会運営の苦労

戦友会の運営は毎年各地区廻り番として鳥取から始めて倉吉 米子 松江 玉造りと温泉地ばかりで実施し其の地区の人が幹事と成り運営して行った
会とは約1泊2日で2万〜3万位其の地区の幹事方が計算して其の場で最終は集めて少し残したら次回の幹事に渡して通信としていた

7. 戦友会の目的

仰せの如く慰霊 親睦 体験談の語り合いであってとても語り出したら殆んどか夜がふけるのも忘れての語り合いでした。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

戦友会として人員名簿や何日何名何処の場所で開催した事を私は明細に記録し何名かで中国の戦闘した方面の記憶も綴って居りましたが10年前に家を新築した為に必要無いと焼却して居ります探して見たが家には有りません残念でした。

9. 戦友会の意味や役割

戦友会の意味や役割はあの畏い苦しい過酷な戦い中を死なずに帰った本当の人間での慶びを再確認すると共に戦地で散った戦友の命福を祈る意味であって此れこそ戦争に行つて経験した者で無ければ味わえない会合であつたと私は思つて居ります
依つて戦後の日本社会において戦友会とは素晴らしい存在でありました。

10. 戦後日本社会についての考え

敗戦後〇〇の世想どれ程苦しみ働いたか今の若者にはとても私達の苦労は理解出来ないと思います。と同時に私は子供や孫達に此の敗戦の物語りは一切したく有りません
過去の悪夢としか胸の中には残っておりません
只敗戦して今考へて見るのに何故日本人の中に此の様な馬鹿らしい戦争を止める様提言を一人としてしなかつたと残念でした其うして一人も偉い人に止める様働いた者も居らなかつたでせうか？ 私は後悔して居ります

備考

整理番号	35	戦友会正式名称	横鎮昭和11年会
------	----	---------	----------

1. 名称とその由来

名称 横鎮昭和十一年会、通称 横鎮十一年会
昭和十一年六月入団兵一括の会。即ち各科（兵科、機関科、飛行科、警備科、工作科、看護科、軍票科、主計科）合同の同年兵会である。
平成11年に解散しております。

2. どういうつながりをもとにしているか

私たち海軍の場合は、横須賀海兵団に入団、各科（兵科、機関科、航空科、警備科、工作科、衛生科、軍票科、主計科）毎夫々海軍兵としての基礎教育、訓練を約6ヶ月間受けて基礎教育終了と同時に書く艦船部隊に配〇、配属を命じられ軍務に服し、以後半年又は1年毎に各艦船部隊への転勤もあり、海兵団卒業後同年兵同志で同一場所での勤務は皆無に等しく、僅か6ヶ月の海兵団での洗脳的教育で一つ心となり団結力が生れ固い絆が生れたもの（以下、コピー途切れる）

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

秋田県在住の昭和11年6月横須賀海兵団入団の兵科の*****氏が海兵団当時の名簿をもとに現在地を探し出し、或る程度の同年兵の所在を把握。昭和60年横須賀に有志20数名が参集 発起人会を開催 同年11月11日横須市のホテルセントラークに於て122名の会員に依り結成総会が開催された。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

年度	回	開催地	出席
S.60	1	神奈川	122
61	2	岩手	130
62	3	福島	165
63	4	栃木	132
H.元	5	神奈川	107
	6	新潟	83
	7	東京	108
	8	宮城	96
	9	山梨	101
	10	山形	81
	11	神奈川	94
	12	静岡	77
	13	栃木	71
	14	福島	57
	15	神奈川	62

横鎮昭和11年会及び、主計科11年会共に平成11年解散後、両会を新設親睦会を開催する

年度	回	開催地	出席者数	男	女
平成12	1	静岡	22	18	4
13	2	#	37	27	10
14	3	#	32	23	9
15	4	#	44	31	13

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

同年兵なので、現役中の階級、戦後の社会人としての地位、役職、蓄財の多寡等一切関係なく、昭和11年6月横須賀系兵団在団時の海軍四等兵の会である。
すべて平等のものです。
只本会は会則に依り会長、副会長、幹事等が総会で選出された。
年会費2'000円〇収しました。総会親睦会参加費はその都度〇収。

6. 戦友会運営の苦労

先輩、後輩がいる会ではないので、会費に対する気遣いは無かった。
年々の会場選びが一寸大変だった。その条件として、

1. 温泉旅館 2. 交通至便 3. 参加費の〇〇

ホテルの選定には 1. トイレの清潔度 2. 浴場 3. 宿泊部屋 に重点を置いた。

7. 戦友会の目的

目的は正にその通りです。特に散華した戦友の慰霊は生き残ったもの義務と思う。

やはり年に一度の再開が唯一の楽しみようで、語り合う話しは毎年同じことを言っているのだが、これが又よいようであった。

会は平成11年に解散したものゝ元気者はこれでもう逢わないというのは駄目だ。来年もやれ、来年もやれと言われ20数名での会合は今年まで続いている。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

戦友会の文集として、会員より原稿を募り文集、回想を平成元年に刊行（非売品）しましたが、既に残部も無く、ご要望にお応えいたし兼ねます。

尚国会図書館には納書してあります。

9. 戦友会の意味や役割

本会の総会参加は夫人同伴を原則としたので、夫人相互の親睦も深まり心からの交際が出来た。

10. 戦後日本社会についての考え

高齢者の身となり戦友会も解散し、入って来る情報は病気、死亡等の暗いものばかりで身近に元気な話相手になる戦友も居なくなり、只淋しさあるのみ。

現在の世相は見るに忍びず、子が親を殺し、親が子を殺すというに及ばず。何と殺人の多いことに驚く。戦後教育の欠陥に依るものか？

封建時代から一足飛びの自由主義への変換、一気にアメリカ思想がやって来たものだから、こんな世になったのかしら？

小泉総理をはじめ、多くの人々が、今の平和と発展は、彼の大戦の多くの犠牲者の上にあると言われているが、国民は皆そう思っているのだろうか？

私は徹底される上からも、若し仮に日本が支那事変中に、国際連盟の勧告を受け入れ支那全土に展開中の日本軍を撤退し、太平洋戦争を回避していたとしたら、現在の日本の現状はどんなものなのか。仮定的ではあるが識者に依る見解を公表して、現状との比較がして見たい。当時の陸海軍はその促残っていたであろうし、こんな時代は来ていただろうか？

備考

構成組織の一部である横鎮主計科十一年会（同一世話人）のアンケート・資料も添付されている

整理番号	36	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

陸軍少年戦兵学校 同期会
卒業生の会

2. どういうつながりをもとにしているか

陸軍少年戦兵学校 18年11月
北支派遣軍 戦車三師団 ○○聯隊 第二中隊

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

6. 戦友会運営の苦労

※ 提出のうえに添削をします。

（※ 添削は10月1日～10月31日まで実施します。11月1日～11月31日は、添削結果の返送を行います。）

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

7. 戦友会の目的

※ 添削は10月1日～10月31日まで実施します。11月1日～11月31日は、添削結果の返送を行います。

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

戦車三師団〇〇聯隊史
陸軍少年兵 毎日新聞社
あゝ少年戦斗兵
戦車隊よもや物語

9. 戦友会の意味や役割

※ 添削は10月1日～10月31日まで実施します。11月1日～11月31日は、添削結果の返送を行います。

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

10. 戦後日本社会についての考え

※ 添削は10月1日～10月31日まで実施します。11月1日～11月31日は、添削結果の返送を行います。

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

※ 添削結果は、11月31日までに返送いたします。

備考

判読不能文字多し

整理番号	37	戦友会正式名称	
------	----	---------	--

1. 名称とその由来

戦車第一師団防空隊「昭和17年9月満州第一軍戦車第一師団595部隊」

この部隊は北は青森、南は九州・四国・愛知等の召集、現役と入交っており、部隊全員の戦友会は無理であり、各中隊毎に創立せざると得なかった。従って小生の中隊は、戦友会名を、戦車第一師団防空隊代6中隊戦友会とした。

2. どういうつながりをもとにしているか

牡丹江興隆にて編成される。昭和19年3月動員下令。北支那派遣軍（1号作戦）戦車第3師団に配属され河南作戦に従事。同年7月湘桂作戦呂集団に高射砲2ヶ中隊 機関砲2ヶ中隊、整備中隊の5ヶ中隊参加（呂595部隊）終戦を広西省にて知る。

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

自分がたま々所持しておりました中隊帰還者名簿を持っておりましてので、昭和44年10月10日靖国神社にて発会式を行いました。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

（前項で述べた）名簿には80名位でこの発会に参加したのは26名で第2回を関西の宝塚にて開催し、参加者は40名程集合しました。

その後東北、東京、関西、四国、九州と年1回春とか秋に行かない主として40名前後が集りました。

平成14年にはやっと6名が集りこの時をもって戦友会を解散することにしました。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

①多少の遠慮はありましたが、和気あいあいでした。役員などはさだめず次の開催地の主な者が開催準備を担当しました。会費は別に定めず当日参加費（寄付金の大部分は将校、古年兵で）賄いました。

席順は、やはり中心に元中隊長、将校、下士官は各小隊毎に並びました。

②音頭を取るのは、中隊で自分が概ねやりました。その理由は、特科兵である私衛生兵1名ですので、それに自分は昭和13年徴兵の補充兵衛生兵で年齢も古参兵より2-3歳上でしたからです。

6. 戦友会運営の苦勞

7. 戦友会の目的

(質問文中の「体験の語り合い」に○印)

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

- ・部隊史は撃墜77機は国会図書館、防衛庁防空研究所戦史室、陸上自衛隊高射学校、NHK資料部に保管されています。
- ・自分の第6中隊戦友会文集「遙かなる青春」は生存各員に配布して現在1部しか在りません。この2冊は、小生の命の終りに共に棺の中に抱いて行くつもりです。

9. 戦友会の意味や役割

すでに大半の戦友はあの世に行き、生存者も高齢化して単独行動が出来なくなっておりますが、皆に喜んで頂けたものと思っております。
戦友会で、世話になりましたと多くの戦友に言われ、中隊長、下士官の方にも、**衛生兵殿と呼ばれ照れくさいです。

10. 戦後日本社会についての考え

戦後60年振り返ってみますと、今世紀の終り頃に亦世界大戦が起るのではと心配です。現在日米同盟があるから安心だとはおもいません。
出来得れば私の生きている間は、二度と戦争のないことを祈ります。
又靖国神社のことで一言、やはり戦争裁判で犯罪とされた方々は気の毒とは思いますが、戦争の責任は負うべきでしょう。従って靖国神社に祭られているのは不合理と思います。天皇でさえ今は参詣していないのに一国の首相が参詣しては、あの侵略された国に人が、とかく言うのも無理ないと思いますが、本当のことを言うなら、師団長の以上の軍人は自刃すべき立場ではなかったか？それが恩給を受けているのは不思議です。仮に日米同盟で戦争するとしても、今の日本の資源、食料需要からみても充分な後方支援が出来そうにもない気がします。二の舞はご免です。

備考

整理番号	38	戦友会正式名称	海軍兵学校第70期会
------	----	---------	------------

1. 名称とその由来

海軍兵学校第70期会

2. どういうつながりをもっているか

同期卒業者及び遺族の方
共に学び共に大東亜戦争で戦って戦死した方々の慰霊とその遺族の方と生存者がする会としている

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

卒業以来実施しているが
戦後は生きる為休止 クラス会誌で投稿しつつ連絡をとる 勤務の為に屢らく出席不能

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

昭和48年以後毎年慰霊ツアーを実施
平成15年以後は靖国神社神楽祭を11月15日に実施中

現在出席 会員及(妻)及び未亡人 29名(平均年令84才)
遺族 13名
に減少している

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

本部は東京で地方に出かける時は
地方より代表世話役を出し企画に加はります
席順は遺族優先とします

6. 戦友会運営の苦労

会幹事が基本企画打合が大へん
地方のものも遺族には横の連絡を
とって世話をする

7. 戦友会の目的

何時まで実施か互に打合せをしたことあり

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

会員も部族会にも出席している
慰霊碑は各海軍基地に建てられていて
旧海軍基地の地方総監出席で毎年慰霊祭が行はれている。(市役所が中心で施行)

9. 戦友会の意味や役割

共に戦った先史の照会
戦後苦労した〇場での経験の照会
自己の研究事〇の発表 e t c .
をクラス会誌に発表している

10. 戦後日本社会についての考え

よく戦い生死は神が決めるものだ
一瞬の判断が我が身及び部下を守った
戦後会社に入り再勉強してよく頑張りよく復興したものである
御陰で老後を慰霊で過している

備考

整理番号	39	戦友会正式名称	騎砲兵第4聯隊戦友会
------	----	---------	------------

1. 名称とその由来

騎砲兵第4聯隊戦友会
通称 「騎砲会」
旧部隊の名称をそのまま採用した

2. どういうつながりをもっているか

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

昭和52年ごろ愛知県三ヶ根山にA級戦犯（殉国七士）の墓が建立され、これを機に各部隊が七士の墓を取巻くように、部隊の戦死者の慰霊碑を建立しようとの古参の兵達が企画した。しかし建設費（1,500万円）が必要、一そのためには、戦友会という組織づくりをして会員を募集、復員名簿により文書案内をシタコロ約300名が加入申込があった。
「戦死した戦友の慰霊」のため戦友会ができた。

①最初の集り、昭和33年三ヶ根山のグリーンホテル

②本格的な戦友会総会は、昭和53年ごろ中部地区、関東地区、関西地区の騎砲隊出身者有志が地区ごと、年次毎に集り、戦死者及び物故者の慰霊と旧懇のため集っていた。〇〇を部隊1〇にまとめて、「全国戦友会」となった。
慰霊碑建設（昭和53年）以降毎年4月29日に慰霊祭及び総会を開催して本格的な行事である。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

会員数（平成5年11月現）
地区 会員 年次
関東 159 4-14
関西 85 17-18
中部 64 15-19
計 308

会員数（平成17.10現）
地区 会員 年次
関東 19 4-14
関西 20 17-18
中部 57 15-19
計 96

最盛期は平成4年ごろで、100名が慰霊祭並総会に出席しました。関東地区と関西地区が観光バスを仕立て、参加しました。7年と共に出席者が減少して、17年は25名、16年は23名、15年は30名でした。
会報はありません。

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

- ・年次による現役当時の気風が残っていた。
- ・役員は古年次が任命されていた。
- ・総会での席順も古年次が上席にある。
- ・私は18年次で最下年次ですが、慰霊碑のある三ヶ根山麓に住居があることで平成4年に事務局長に無理に押し付けられた。
- ・私が事務局長になって13年になるが、当初から席の上下を設けなく設営し、自由席とした。

戦友会、中隊長も隅に居る。（**川柳）

6. 戦友会運営の苦労

戦友会の今後の運営課題

1. 戦友会は会員が死滅すれば、必ず無くなる。
 2. 戦友の霊魂を祀る碑は永久に残る。が以後誰がこの碑を護持するか難問だ。
 3. その対策として
 - ・平成5年～9年の総会の都度出席者から1万円あて〇〇して4年間で600万円の維持資金を貯えることができた。
 - ・この費用を懐にして「永代維持供養」をしてくれる信用ある団体を探した。実例。寺院、行政、観光協会、高令者能力開発、地元のボランティア。「平成9年にその結果、地元の観光協会と永代維持供養費契約」を締結。契約金550万円。
- しかし、会員が皆無となったときの役務履行の検証ができなくなる懸念がある。

7. 戦友会の目的

目的は「慰霊、親睦、語り合い」である。

俺が戦死したら、俺の骨を〇地のふる里へもっていってくれ。水盆で出陣した同年次が6人死んだ21歳だった。運が悪ければ、俺が戦死したかも知れない。

厳しい訓練、生死は紙一重、80才まで生き延びた感謝

学校のクラス会、職場の〇B会とは全然ちがう、体験した者でなければ判らない感情です。

戦争で苦勞し、復員し、復興に全力をつくし、家を創り国を創ったその苦勞が近代忘れられている 情無い限り。

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

1. 騎砲兵物語 昭和60年11月発行 P 217
2. 騎砲兵体験録 平成8年8月発行 P 382
3. 騎砲兵第四聯隊慰霊碑
愛知県幡豆町入会山 昭和53年4月29日建設
4. 終戦により帰還のとき遺骨は全部兵員と共に帰還した。
5. 1-2のとおり2冊の図書を発行しましたのが余部がありません。

9. 戦友会の意味や役割

1. 慰霊、親睦、語り合いの大きな効果があった
2. 戦犯志の目で見られた存在だった。

10. 戦後日本社会についての考え

1. 日本の首相が閣僚が、A級戦犯を祀る靖国神社に参拝することは、「国損」だ。
2. 軍隊生活で礼儀、根性を体で覚えた。軍隊を知る人が僅少となって日本の国の沈没さえ覚える。
3. 日本の自衛隊を「軍」にする憲法改正は、反対である—それは、戦争の悲惨さを知らないからである。
4. お尋ねがあれば何なりと申して下さい。

F x ****-**-****

備考

整理番号	40	戦友会正式名称	南窓会
------	----	---------	-----

1. 名称とその由来

名称「南窓会」

由来 部隊の戦場は主に「ビルマ」中部の高原地「カラー」附近でした。

松林であり、また桜もみられました。そこに故郷の想いを重ねた。交代要員として、東京・埼玉出身者が加わり、彼らがこの会を発足させた。

2. どういうつながりをもとにしているか

部隊は、独立した高射砲大隊でした。その中で南窓会は第三中隊の隊員であった者で組織しました。

正規の部隊名 高四八一部隊高射砲第三六大隊第三中隊

復員人員 107名（復員名簿による）

3. いつ、どのようなきっかけで作られたか

戦友会の発足は、東京都出身者（交代要員）等が都内で行なっていたようです。その後部隊の幹部が栃木県在住者がおり、また行楽地で利便なことから、栃木県内在住者が会の運営に当たるようになり、現在にいたっている。

現在は栃木県在住の幹部は故人となり、年1回の会合を休眠状態です。

4. 会員数の変化、大会への出席者数の変化

5. 戦時中の役職や階級が生きているか

会長職は、名目上、部隊の幹部が当たっています。

それについては、異和感を、会員は持っていません。

只会合の席順については、当時の幹部が上席につくことを当然と受とめています。

6. 戦友会運営の苦勞

7. 戦友会の目的

8. 部隊史、戦友会史、慰霊碑、遺骨収集等の活動

書名 会員名簿・部隊戦史

発行 おほとり会

元野戦高射砲第36大隊本部・段列

おほとり事務局 ***** (*) *****

9. 戦友会の意味や役割

戦友会はあくまで親睦が目的で政治的意図を持ったことは全くありません。

10. 戦後日本社会についての考え

戦前東京の工場に復職の想いを断ったのは、食糧事情でした。後に役場職員として生れ故郷の役場に奉職いたしました。当直に夜など、先輩職員が酔って障子に当る等、いやがらせを度々受けた。上役作成の予算書など見ると納得できないので、夜、自宅に持ち帰り父親に教り作成しなおして議会提出するようなこともありました。（予算書を初めて見たとき）

昭和24年の今市地震の際に地元出身の国会議員が、村長にも会わず有力な支持者に直行したことにいさゝか失望を感じました。

市町村合併直後、会計検査院による「災害旧事業成功認定」事務が行なわれた折、一部村の歳出内訳簿を見て悪然としたことがあります。（事業上支出は補助額のみ）（食料への支出を職員名で）

このような事情から合併は適切と考えたことがありました。

備考

中隊名簿1枚

平成 16 年 10 月

各位

戦友会研究会

代表者 高橋由典（京都大学大学院人間・環境学研究科教授）

伊藤公雄（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

高橋三郎（広島国際学院大学大学院現代社会学研究科教授）

新田光子（龍谷大学社会学部教授）

吉田純（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科気付

戦友会についての調査のお願い

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。突然このような質問紙をお送りする非礼をお許してください。

私たちは社会学を専門に研究しているものですが、以前より、戦友会に学問的興味を抱き続けてきました。25 年ほど前に、全国の戦友会の世話人の方々および会員の方々を対象にして、二度ほど調査をさせていただいたことがあります。

戦友会は、人間と人間の交わりの一つの純粹形態でありながら、私たちの研究以前には学問的研究の対象になることはほとんどなかったように思われます。私たちは戦友会の研究を通して、あの戦争で苦勞された世代の戦闘体験や軍隊体験を後世に正しく伝えたいという気持ちをもって研究を進めてまいりました。そしてその成果を『共同研究・戦友会』（田畑書店、昭和 58 年刊）という書物にまとめさせていただきました。

前回の調査からほぼ四半世紀が経過した現在、新たな気持ちで戦友会調査をさせていただくこととなりました。

戦後 60 年近く経過し、日本の社会も大きな曲がり角を迎えているかに見えます。他方戦争を経験した世代は次第に社会の表舞台から退き、軍隊体験、戦争体験は徐々に過去のものとなりつつあります。私たちは、軍隊や戦争を体験された戦友会の方々が、今どのようなお気持ちで生きておられるのか、あるいは現在の日本社会についてどのようにお感じになっているのか、その率直なところをぜひ伺いしたいと考えています。

前回の調査もほぼ同様の趣旨で行ったのですが、今回は、それから 25 年経った現在、戦友会そのもの、および戦友会会員の方々の意識がどう変化したのか、あるいは変化しなかったのかという点をも明らかにしたく思っております。戦後日本社会を考える上できわめて重要な意味をもつ戦友会について正確な記録を残しておくことは、私たちの世代の責務であると考えからです。

幸い、今回の戦友会研究に対して文部科学省科学研究費補助金が与えられることになり、この度調査に取りかかることになった次第です。

上に述べましたような趣旨で調査をさせていただくにあたり、次のような段取りを考えました。

- (1) まず、前回の調査にご協力いただいた世話人の方々を中心に質問紙をお送りし、戦友会の現在のご連絡先等をお教えいただき、現存戦友会の名簿を作成する。
- (2) 次に、その名簿に記載されている全戦友会に新たに質問紙をお送りし、詳しいことをきかせていただく。

というものです。

今回はこの(1)(2)のうち、(1)を実施しようとしております。なにぶんにも、前回の調査から長い時間が経っていますので、世話人の方のお名前、ご住所等につきまして失礼も多々あるかと存じます。何とぞご海容賜りますようお願い申し上げます。

私たちの研究は純粋に学問的なものですので、お答えいただきました内容を研究以外の目的に利用することは決してございません。またお名前を出したりすることも一切ございません。

つきましてはまことに恐縮でございますが、私たちの微意をおくみとりの上、ご記入ご返送賜りますよう心からお願い申し上げます。

敬具

お願い

- 1 調査の意図、記入方法などにつきご不明の点がございましたら、〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科高橋由典 (TEL 075-753-6613、E-mail: senyukun@socio.kyoto-u.ac.jp) までご照会賜りたく存じます。
- 2 大変勝手なお願いではございますが、10 月下旬までにご記入ご返送賜れば幸いです。

戦友会についての調査

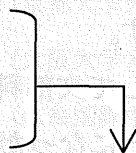
問1 戦友会

の現状についてお尋ねします。

1～4のうちあてはまるものに○をお付けください。また、それぞれの質問にお答えください。

1. 活動している

2. 存在しているが、活動はしていない



○現在の世話人の方のお名前とご住所をお教えてください。

世話人のお名前
世話人のご住所 〒

3. 解散・解消した



○差し支えなければ、解散・解消の時期とご事情をお教えてください。

解散・解消の時期	昭和・平成（ ）年
解散・解消のご事情	

4. わからない



○差し支えなければ、ご事情をお教えてください。

【2ページ目に続きます】

問2 現在活動している他の戦友会について、もしご存じであれば教えてください。

戦友会名	世話人のお名前	世話人のご住所
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒

問3 戦友会研究についてのご意見、ご感想などございましたら、お聞かせください。

（ここに戦友会研究に関するご意見、ご感想などをご記入ください）

【質問は以上です。ご協力ありがとうございました】

平成17年11月1日

戦友会世話人 各位

戦友会研究会

代表 高橋由典（京都大学教授）

伊藤公雄（京都大学教授）

高橋三郎（京都大学名誉教授）

新田光子（龍谷大学教授）

吉田 純（京都大学教授）

「戦友会についてのアンケート調査」へのご協力お願い

謹啓 清秋の候皆さまには益々ご健勝のことと存じあげます。突然このようなお願いを差しあげます失礼をお許してください。

わたくしたちは、いずれも社会学を専門領域といたしております。個々の研究テーマは異なりますが、以前から共同研究のテーマとして「戦友会」をとりあげてまいりました。共同研究を始めましたのは昭和53年のことです。戦後の政治的・思想的風潮とはまったくかわりなく、白紙の状態、あの戦争を戦った方々の本当の気持ちをあきらかにしたいというのが研究をはじめたきっかけです。幸い戦友会関係者のご理解を得ることができ、2回にわたって全国アンケート調査を行い、また多くの方々から聞き取り調査を行うことができました。

研究の成果は、昭和58年に、高橋三郎編『共同研究 戦友会』として出版いたしました。（最近『新装版 共同研究 戦友会』（インパクト出版会、平成17年、¥3500）として復刻いたしましたので、ご関心がございましたら、恐れ入りますが書店にご注文いただきたく存じます。本来でしたらお送りすべきなのですが、手持ちもなく、また経費的余裕がございませんので、どうかご海容ください。）

ここ10年あまり、戦友会のメンバーでお亡くなりになられる方も多くなり、戦友会を解散されるところもふえています。このような状況のなかで、わたくしたちは、戦友会の自然消滅をただ見過ごすのではなく、戦後社会のなかで戦友会のもっていた意味をきちんと書き残しておくべきだと考えるようになりました。そこで、そのために、もう一度全国的なアンケート調査をお願いしようということになりました。

今回のアンケートをお送りする先を決めるにあたっては、わたくしたちが把握しております戦友会データとともに、「社団法人 元軍人軍属短期在職者協力協会」がおまとめた『「戦友会」調査報告書』をも参考にさせていただきました。

アンケートをご覧いただければご理解いただけるかと思いますが、わたくしたちには、なんら政治的な意図はございません。調査費用も文部科学省科学研究費補助金によるものです。戦友会や世話人の方々のお名前をだしてご迷惑をおかけするようなことは、決してございません。

わたくしたちが、あきらかにしたいのは、次のような問いにほかなりません。

戦友会はどのようにして作られ、維持されてきたのか。戦友会のありかたは、数十年経過するなかで変化はなかったのか。戦友会に集う人たちにとって、戦友会はどのような意味や役割をもっていたのか。戦後日本社会において、戦友会の存在とはいったいなんであったのか。

わたくしたちが意図しておりますことにご理解をいただき、下記のとおり是非ご協力たまわりますことを、心からお願い申し上げます。

敬具

記

1. アンケート用紙は、全部で5枚です。アンケート用紙に書き込んでくださっても、あるいはまったく別紙に書いてくださっても結構です。どのような用紙でも、また手書きでも、パソコンでもかまいません。

質問には重複している部分があるかと思いますが、まとめて書きやすいようにお書きくださって結構です。

こうしてお聞きする機会は、たぶんもうないと思いますので、できるだけくわしくお教えいただけましたら幸いです。

2. 貴戦友会の活動や歴史を語る資料で、ご惠贈いただけるものがございましたら、是非頂戴いたしたく存じます。実費を負担するのは当然のことなのですが、正直申しまして費用を捻出することができません。わたくしたちにできますことは、貴重な資料として将来にわたって保存することだけです。ご賢察いただけましたら幸いです。
3. 大変恐れいますが、11月20日ごろまでにご返送くださいますようお願い申し上げます。
4. このアンケート調査についてご質問がございましたら下記にご照会ください。

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科

高橋由典

電話 075-753-6613 (研究室直通)

e-mail: ytaka@socio.kyoto-u.ac.jp

戦友会についてのアンケート調査

※あなたがお世話をされている戦友会についてお答えください。

※1つの戦友会のみについてお答えください。

※もし複数の戦友会についてご回答いただける場合は、恐れ入りますがアンケート用紙をコピーしていただくか、追加をご請求ください。

※ご回答については、別の用紙をご使用いただいてもけっこうです。

1. 戦友会の名称とその由来をお教えてください。正式な名称、メンバー間での通称、なぜそういう名前にしたかなど、お教えてください。

2. どういうつながりをもとにして戦友会はできていますか。部隊、艦艇、官衙、学校、作戦地域、時期などいろいろあると思いますが、できるだけ詳しくお教えてください。

3. 戦友会はいつ、どのようなきっかけで作られましたか。最初どなたが言い出したのか、最初のあつまりは、いつ、どこであったのか。本格的な戦友会大会が開かれたのはいつか。くわしく教えてください。

4. 戦友会の会員数の変化、および戦友会大会への出席者数の変化をお教えてください。最初のころ、最盛期（いつごろであったかお教えてください）、そして現在について、会員および出席者数をお教えてください。会報など、年次別人数のわかる資料があればうれしいです。

5. 戦時中の役職や階級のちがいが戦友会のなかでも生きていますか。たとえば、役員の決め方、会費、大会での席順など、具体的にどんな場面でかお教えてください。

あなたが所属されている戦友会についてお答えください。

※1つの戦友会のみについてお答えください。

※もし複数の戦友会についてご回答いただける場合は、数が入りますがアンケート用紙をコピーしていただくか、追加をご請求ください。

※ご回答については、別の用紙をご使用いただいても構いません。

1. 戦友会の名前とその由来をお教えてください。正式な名称、メンバー間での通称、なぜこの名前にしたかなど、お答えください。

6. 戦友会運営のご苦労をお教えてください。時期によってご苦労のなかみが違うと思いますので、くわしくお教えてください。

2. どういうつながりをもとにして戦友会はできていますか。部隊、艦船、官衙、学校、有職地域、時期などいろいろあると思いますが、できるだけくわしくお答えください。

7. 戦友会の目的は「慰霊・親睦・体験の語り合い」にあるといわれていますが、あなたの戦友会の場合はどうでしょうか。時代の流れとともに何か変化があったでしょうか。具体的にお教えてください。

8. 戦友会として刊行された部隊史、戦闘史、戦友会史などがございましたら、書名・発行年などをお教えてください。戦友会として建立された慰霊碑がございましたら慰霊碑名・建立場所・建立年などをお教えてください。戦友会として遺骨収集に参加されたことがございましたら遺骨収集团名・地域・実施年などをお教えてください。その他、戦友会として独自の活動をしておられましたら、具体的にお教えてください。

9: 戦友会の会員の人たちにとって、戦友会にはどのような意味や役割があったとお考えになりますか。また、戦後日本社会において戦友会とはどんな存在だったのでしょうか。是非おきかせください。

戦争体験者として、戦後日本社会を振り返ってどのようにお考えですか。ご自身の体験やお気持ちに基づいて、是非おきかせください。

【質問は以上です。ご協力ありがとうございました。】